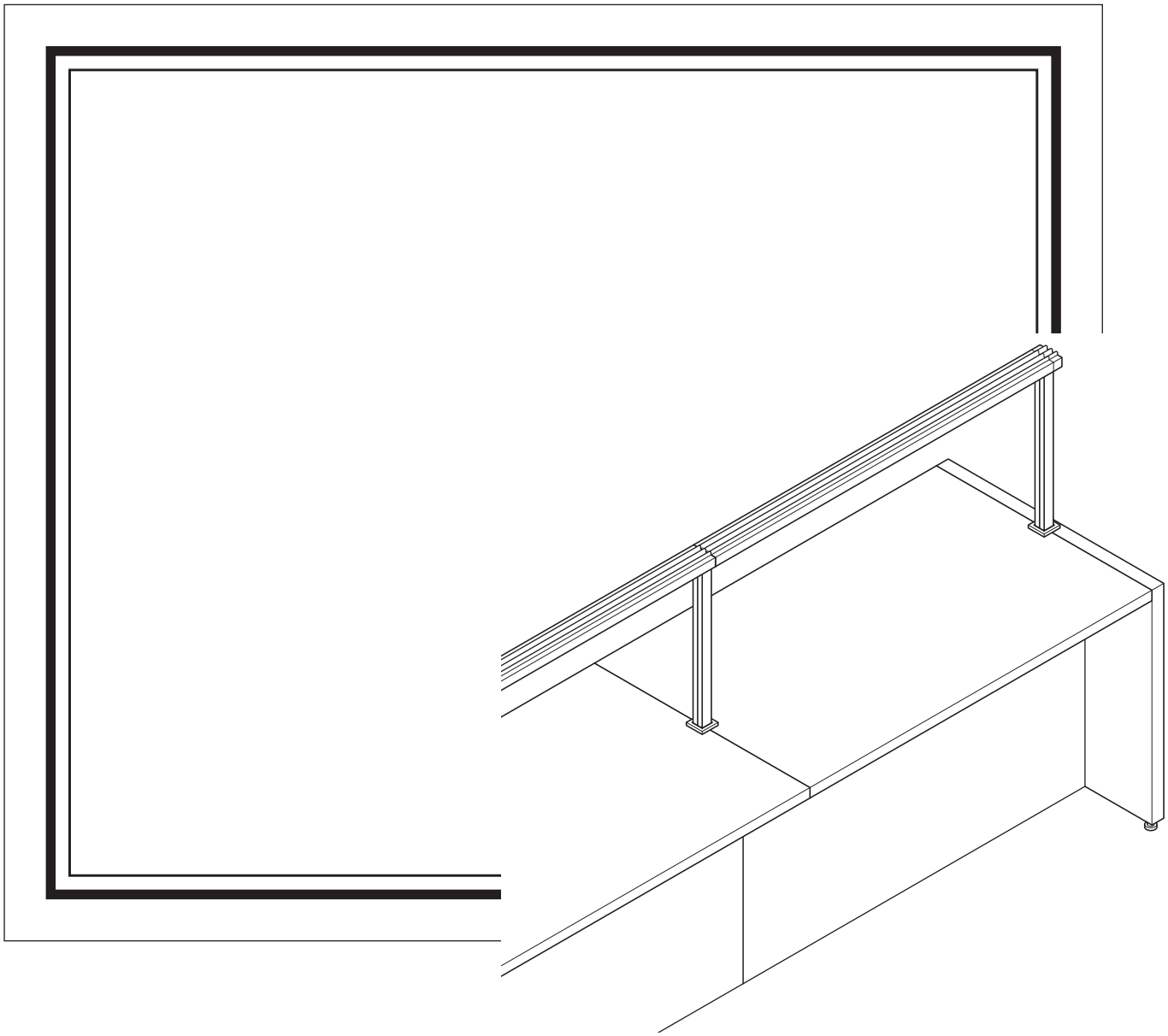
KOKUYO



DAYS OFFICE

big table〈ビッグテーブル〉

施工マニュアル vol.3.3

1805080017EKH

はじめに

このマニュアルは、ビッグテーブルのレイアウト条件や施工要領について記載しています。
記載している条件や手順を守って、設計・施工を正しく行ってください。
守らないと、施工時や使用中に製品が転倒するなど、事故の原因になります。

※文中・図中の単位のない数値は、すべてミリメートル（mm）で表示しています。

〈使用工具〉

・⊕ドライバー：No.2・No.3
・L型六角レンチ：4mm・5mm・6mm
・スパナ：13mm

もくじ

1. 取扱説明書について …… 2
2. 設置プラン …… 3
1.設置レイアウトについて …… 3
2.ユニットの構成について …… 3
3. 部材構成 …… 4
1.全体構成 …… 4
2.梱包ごとの部品の種類と数 …… 5
3.オプションの部材構成 …… 7
4. 墨出し …… 8
1.墨出しの基準線について …… 8
2.各レイアウトについて …… 9
3.電源の準備について …… 9
5. ビッグテーブルの組み立てかた … 10
1.直線部の組み立て …… 10
2.テーブルの連結 …… 15
3.アジャスター調節 …… 20
4.コンセントビームの取り付け …… 21
6. やぐらの組み立てかた …… 22
0.やぐらの組み立ての流れについて … 22
1.横ビームと支柱の準備 …… 23
2.支柱の取り付け …… 26
3.横ビームの取り付け …… 28
4.電源との配線 …… 30
5.幕板の取り付け …… 31
7. オプション類の取り付け …… 32
1.ペンダント照明の取り付け …… 32
2.フックの取り付け …… 32
8. 組立後の確認 …… 33
1.レベル調節 …… 33
2.アジャスターの浮き …… 33
3.汚れ・傷・破損 …… 33
4.取扱説明書 …… 33
9. 組み替え・移動について …… 34
1.組み替え・移動時のご注意 …… 34
2.連結を外す手順 …… 34

1.取扱説明書について

ユーザーに対する、この製品の取扱上の注意事項を記載した取扱説明書を、エンド脚の梱包の中に1部ずつ入れています。取扱説明書には、製品の正しい使いかたと、取り扱いを誤った場合に、人や物に危害や損害をおよぼしたり、製品の故障や損傷を起こしたりすることを、未然に防止するための注意事項、およびお手入れの方法など、大切な内容を記載しています。

この内容をユーザーが読んで理解し、製品を安全に末永く使っていただくために、必ずユーザーの手元に取扱説明書が届くようにしてください。

※物件の内容や施工の状況によって納入条件が異なりますが、いずれの場合でも取扱説明書がなくなるようなこと（梱包材と一緒に処分してしまうなど）がないよう留意してください。

取扱説明書

DAYS OFFICE

big table / big counter

このたびは DAYS OFFICE 製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

もくじ

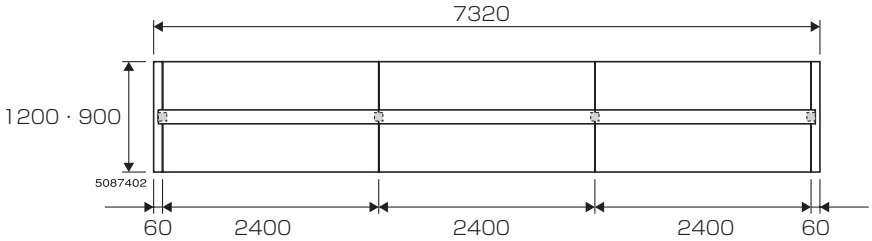
1.安全上のご注意 …… 1
2.末永くご使用いただくためのご注意 …… 6
3.各部のなまえ …… 7
4.使いかた …… 9
5.お手入れのしかた …… 12
6.部品の交換について …… 13
7.仕様 …… 14

2.設置プラン

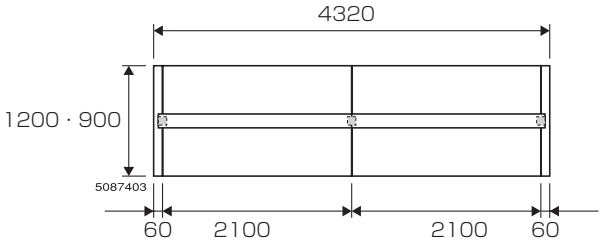
ビッグテーブルは、下記の2つのプランに基づき設置できます。

1.設置レイアウトについて

100坪プラン

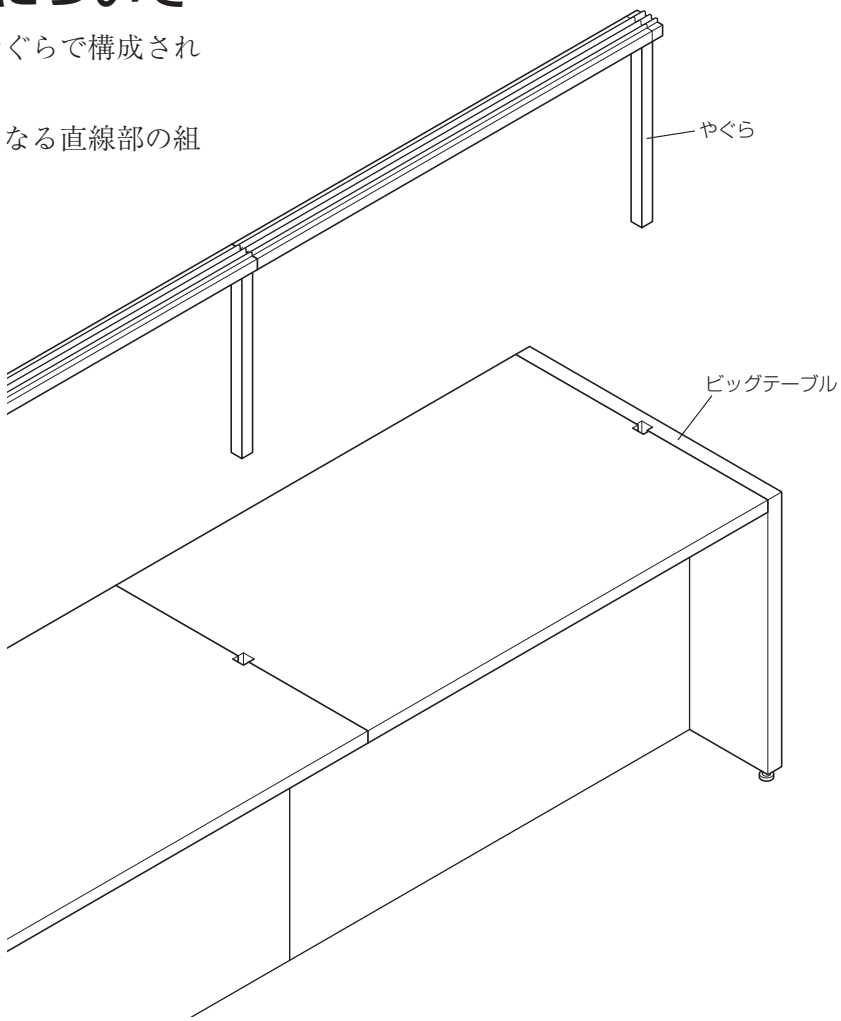


40坪プラン



2.ユニットの構成について

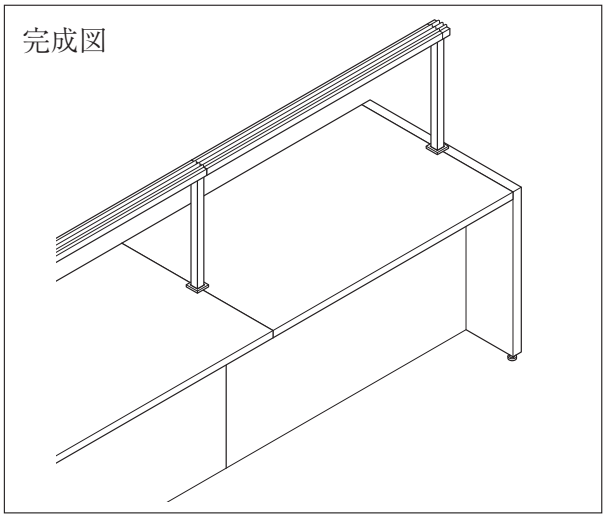
この製品は、ビッグテーブルとやぐらで構成されます。
この施工マニュアルでは、基本となる直線部の組み立てかたを説明します。

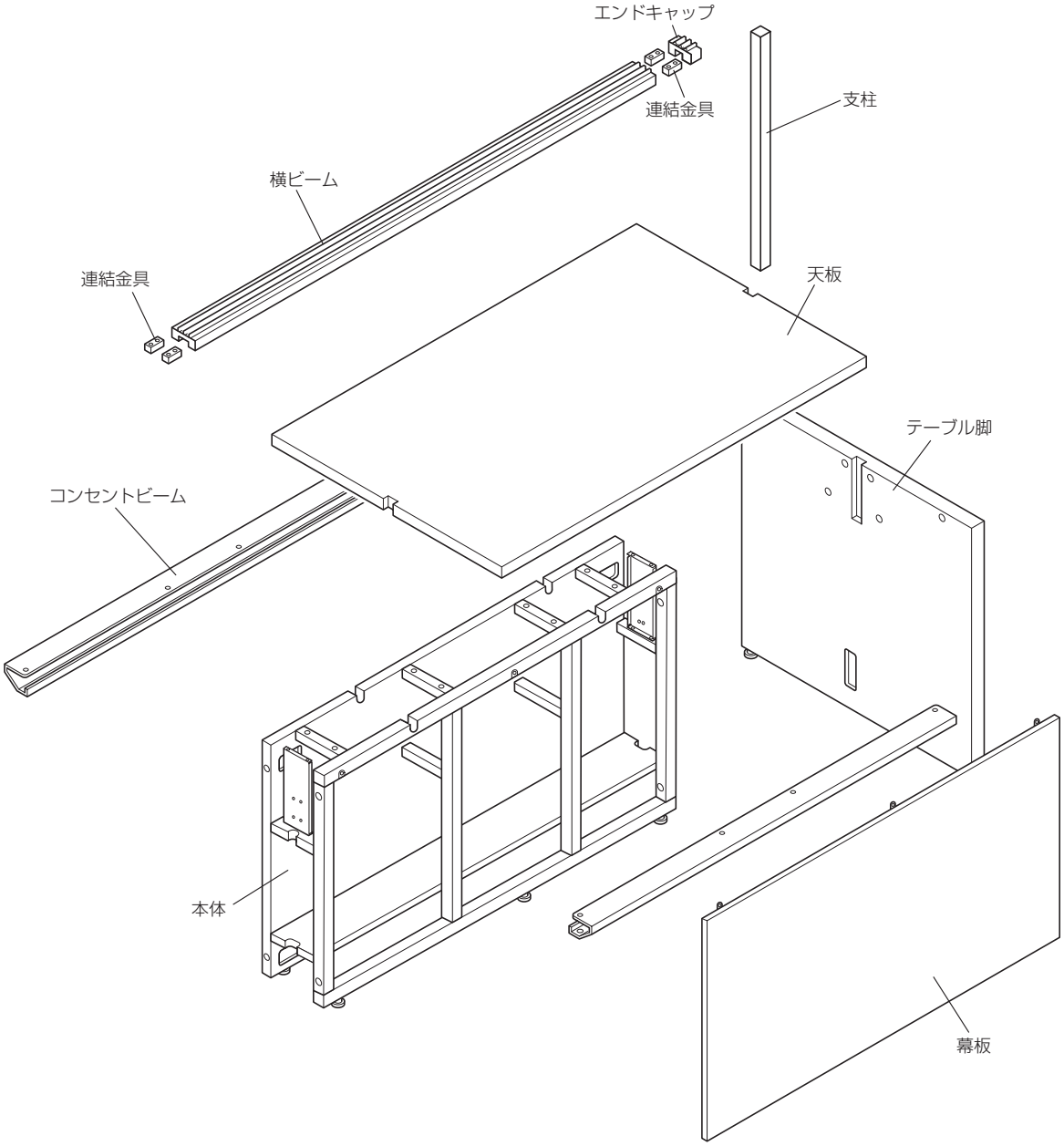


3.部材構成

1.全体構成

ビッグテーブル＋やぐら





2.梱包ごとの部品の種類と数

ビッグテーブル

本体

品名・梱包品番	部品の種類	個数			
		W1500用	W1800用	W2100用	W2400用
本体 **XYB-BTG○○（72・10）**	本体	1	1	1	1
	寸切りボルトM8×140	4	4	4	4
	平座金 M8用	8	8	8	8
	バネ座金 M8用	8	8	8	8
	ナット M8	8	8	8	8
	六角穴付キャップボルト M6×50	6	8	8	8
	平座金 M6用（天板取り付け用）	6	8	8	8

※○○にはワイドサイズ15、18、21、24が入ります。

天板

品名・梱包品番	部品の種類	個数	
		D900（穴あり/なし）	D1200（穴あり/なし）
		XYT-BTGE（B・F）○○9	**XYT-BTGE（B・F）○○12**
天板 **XYT-BTGE（B・F）○○□□**	天板	1	1
	寸切りボルトM8×140	4	4
	平座金 M8用	8	8
	バネ座金 M8用	8	8
	ナット M8	8	8
	天板連結金具（**DSK-008**）500㎜	－	2
	天板連結金具（**DSK-009**）375㎜	2	－

※○○にはワイドサイズ15、18、21、24が入ります。

脚

品名・梱包品番	部品の種類	個数		
		D900 H1000（穴あり/なし）	D1200 H1000（穴あり/なし）	D1200 H720（穴あり/なし）
		XYP-BTG（B・F）910	**XYP-BTG（B・F）1210**	**XYP-BTG（B・F）1272**
テーブル脚 **XYP-BTG（B・F）□□□□**	脚	1	1	1
	六角穴付キャップボルト M8×80	8	8	8
	平座金 M8用	8	8	8
	バネ座金 M8用	8	8	8
	天板連結金具（**DSK-008**）500㎜	－	1	1
	天板連結金具（**DSK-009**）375㎜	1	－	－
	取扱説明書	1	1	1
	シムセット	1	1	1

コンセントビーム

品名・梱包品番	部品の種類	個数	
		W1500	W1800/W2100/W2400
コンセントビーム **XYW-BT□□**	本体	2	2
	六角穴付ボタンボルトM6×20	6	8
	平座金 M6用	6	8

やぐら

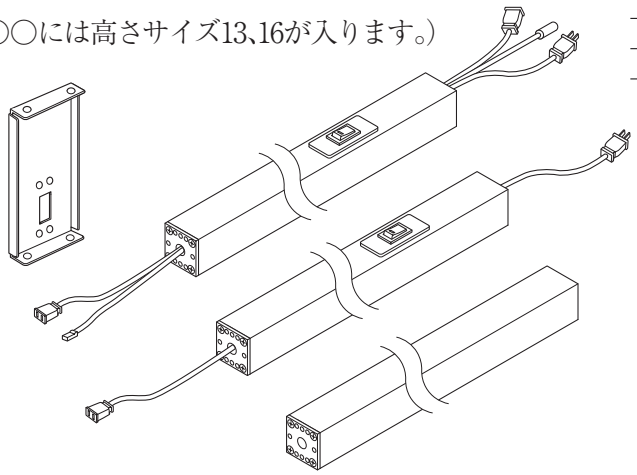
●支柱

XYL-BTSVS○○L

XYL-BTSVS○○

XYL-BTSV○○

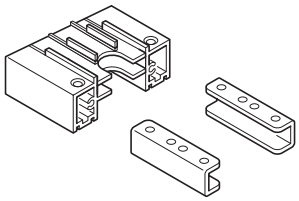
（○○には高さサイズ13､16が入ります。）



部　品　の　種　類	個　　数
支柱本体	1
六角穴付ボタンボルト M6×20	4
平座金 M6用	4
十字穴付ナベボルト M6×20	4
ACアダプター（13L､16Lのみ）	1
やぐら支柱取付金具	1
六角穴付P3キャップボルト M6×20	4

●横ビーム・45㎜エンドユニット

XYD-BTSHE45

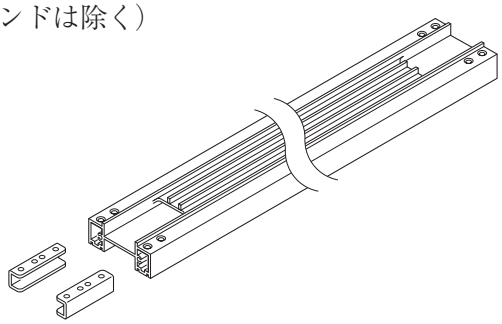


部　品　の　種　類	個　　数
エンドユニット本体	1
連結金具	2
十字穴付サラボルト M4×22	8
カラー	2

●横ビーム

XY-BTSH○○○（L）

（両エンドは除く）

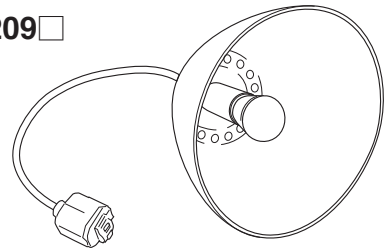


部　品　の　種　類	個　　数
横ビーム本体	1
連結金具	2
十字穴付サラボルト M4×22	8
LED光源（LED付きのみ）	1
クリップ（LED付きのみ）	1

3.オプションの部材構成

ペンダント照明

XY-BBTERP7209□



部　品　の　種　類	個　　数
ペンダントシェード	1
ランプ（E17）	1

フック

XY-BBTDR8543N□

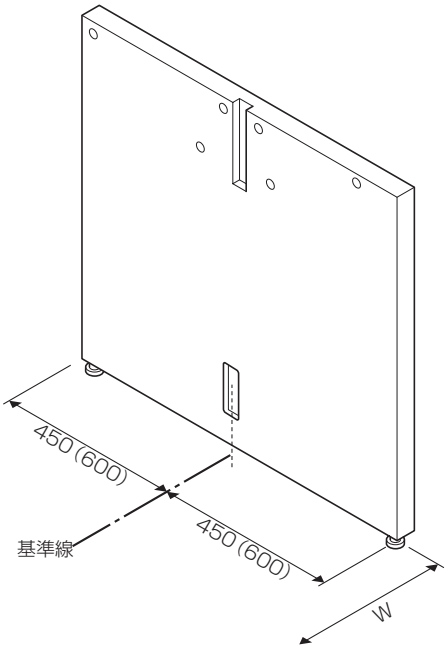
部　品　の　種　類	個　　数
フック	1

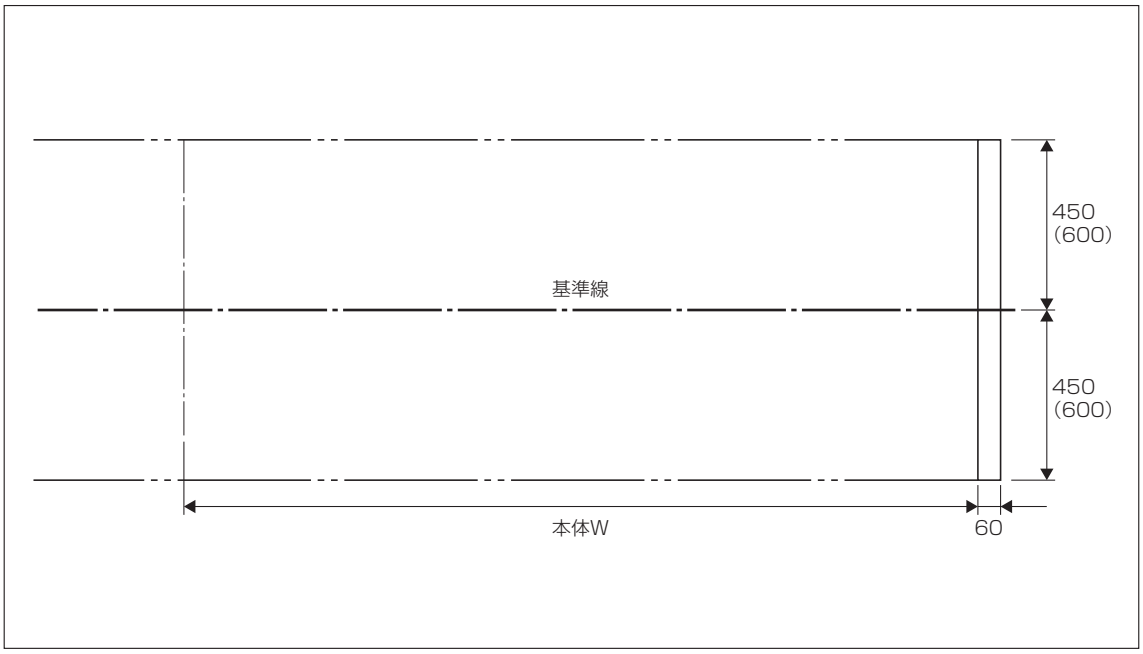
4.墨出し

レイアウト図面に基づいて、エンド部から、テーブル脚または中間部の図に示す基準線に墨出しを行ってください。

1.墨出しの基準線について

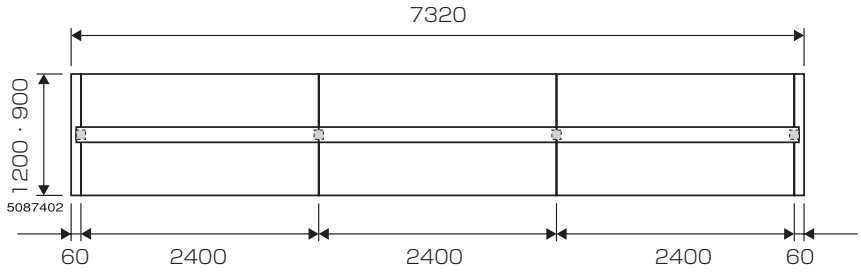
●テーブル脚の基準線
※寸法は、部材の端からの数値です。



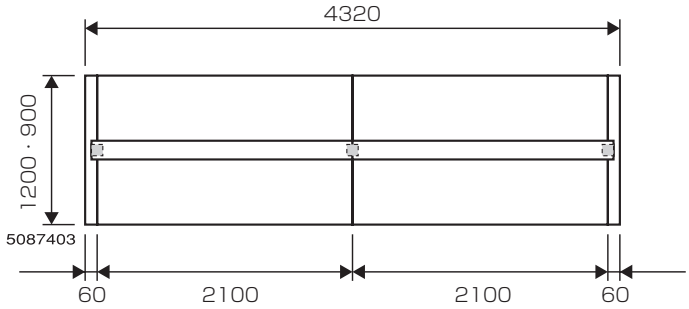


2.各レイアウトについて

100坪プラン



40坪プラン



3.電源の準備について

以下の内容を確認して、ビッグテーブルのコンセントと支柱（スイッチ付き）の電源プラグを1次側電源に接続してください。
フロア電源立ち上げ位置は、レイアウト図面に記載しています。4個口×2系統のコンセントを床から900㎜立ち上げてください。

⚠警告

接続する電源は、交流100V/15Aの電源を使用してください。
ショートや火災、感電の原因になります。

5.ビッグテーブルの組み立てかた

⚠注意

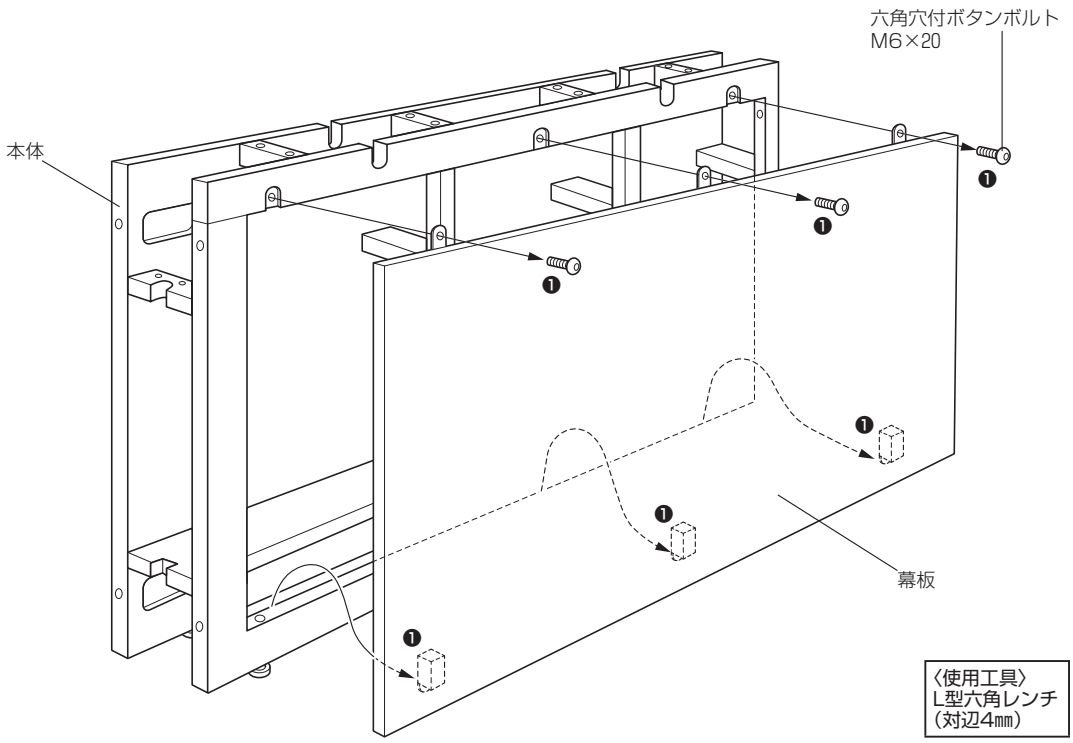
- **製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。**
  誤った手順・方法で組み立てると、けが・破損のおそれがあります。
- **製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。**
  転倒や部品の落下によるけが・破損のおそれがあります。

〈組立時のご注意〉

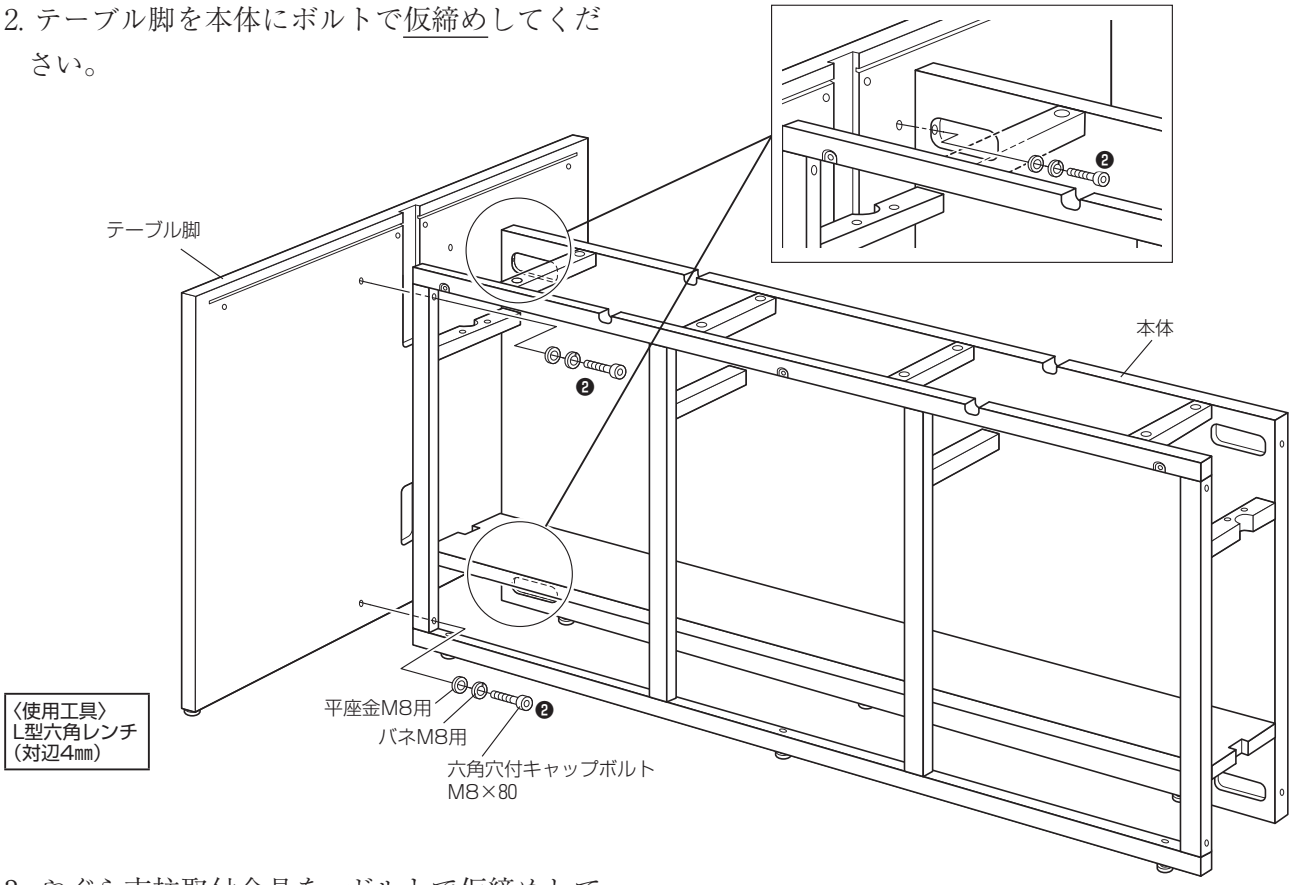
- このビッグテーブルは、柔らかい素材を使用しているため、非常に傷が付きやすいので注意してください。また、組み立ての際は、適切な養生を行うことはもちろん、細心の注意を払ってください。
- **電動工具でボルトを締め付けるとき、締めすぎないように注意してください。本締めは、必ず手締めで行ってください。**

1.直線部の組み立て

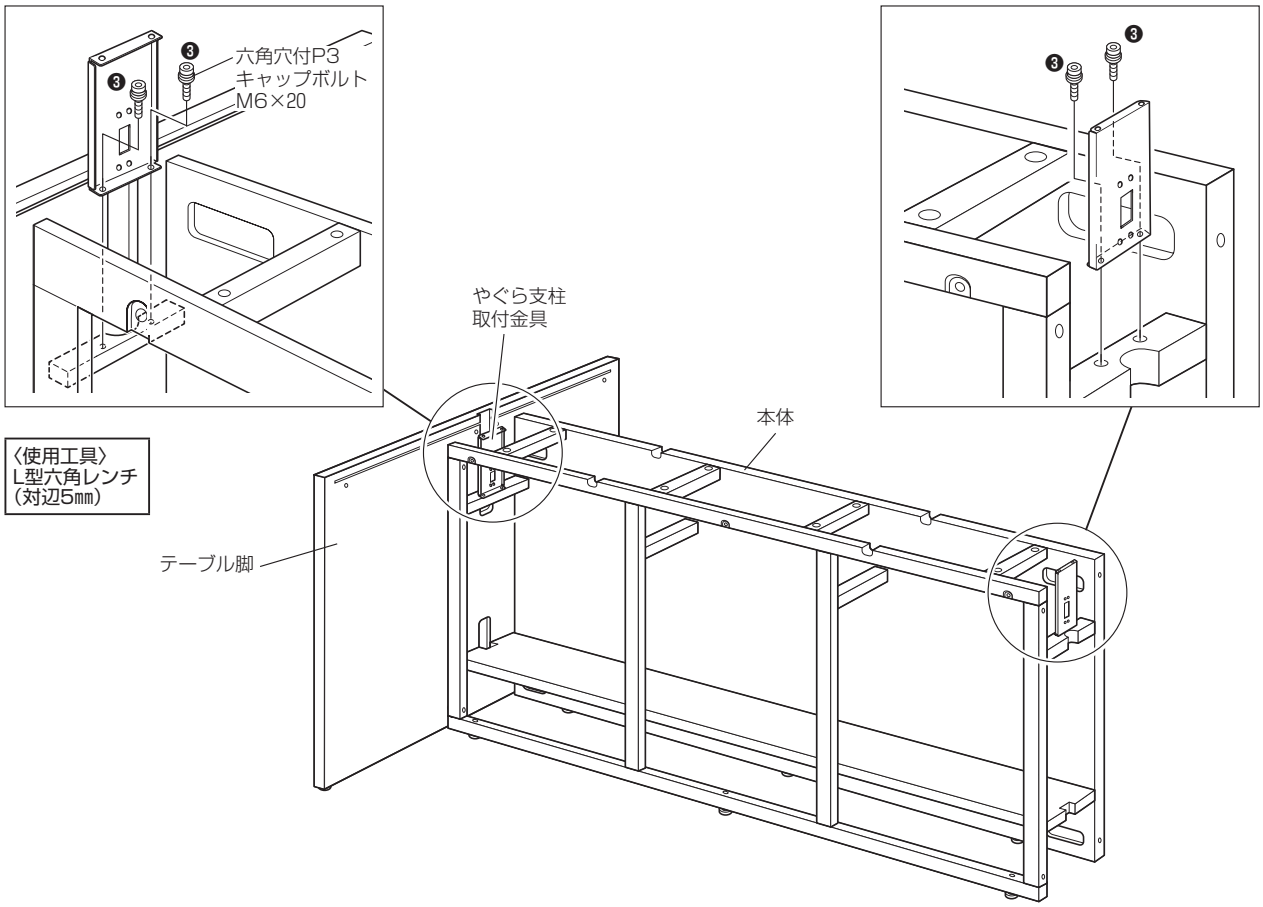
1.本体から幕板を取り外してください。



2. テーブル脚を本体にボルトで仮締めしてください。

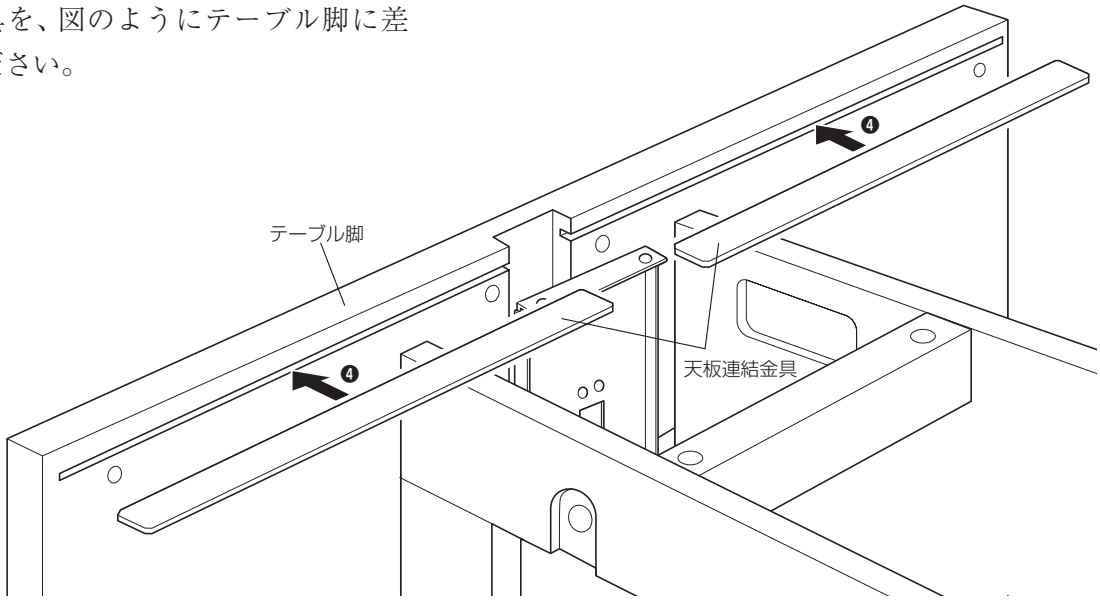


3. やぐら支柱取付金具を、ボルトで仮締めしてください。



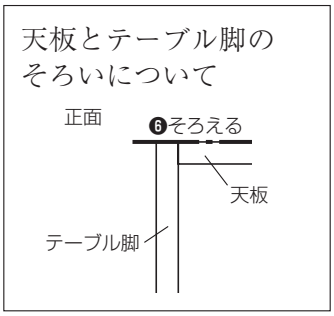
5.ビッグテーブルの組み立てかた－1.

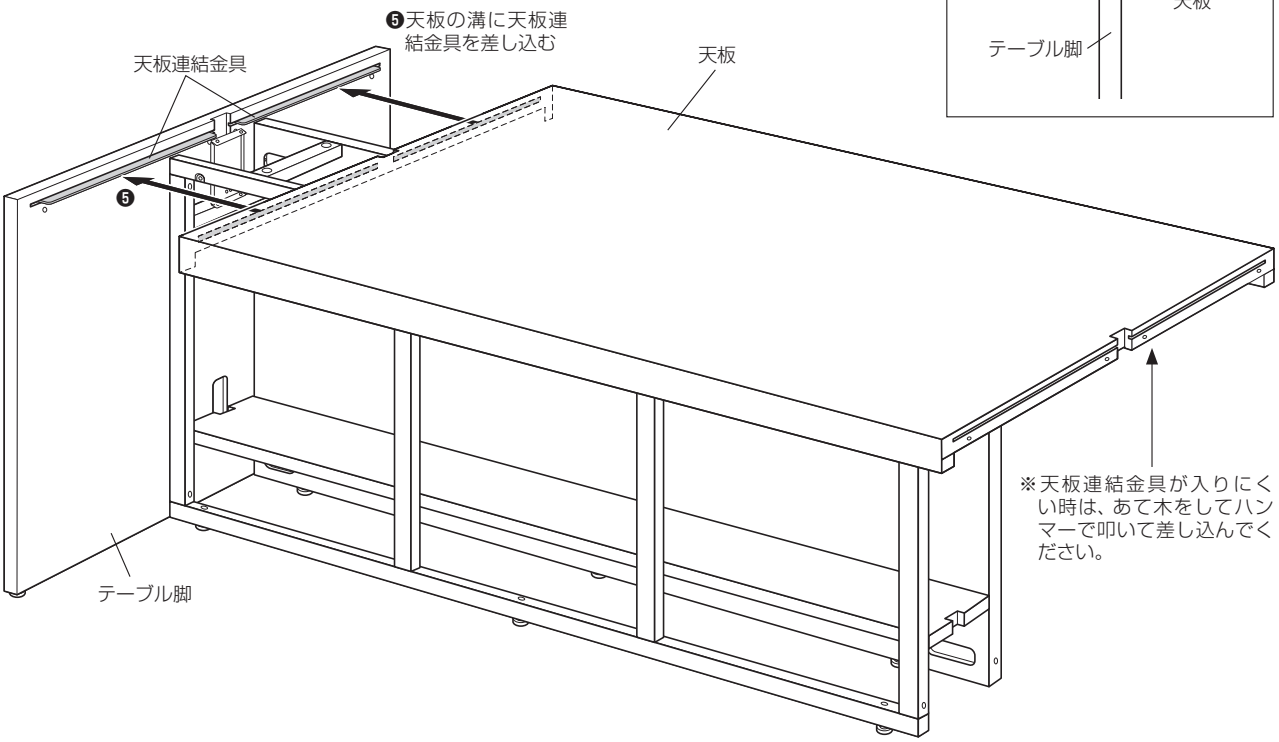
4.天板連結金具を、図のようにテーブル脚に差し込んでください。



5.天板連結金具を天板に差し込んでください

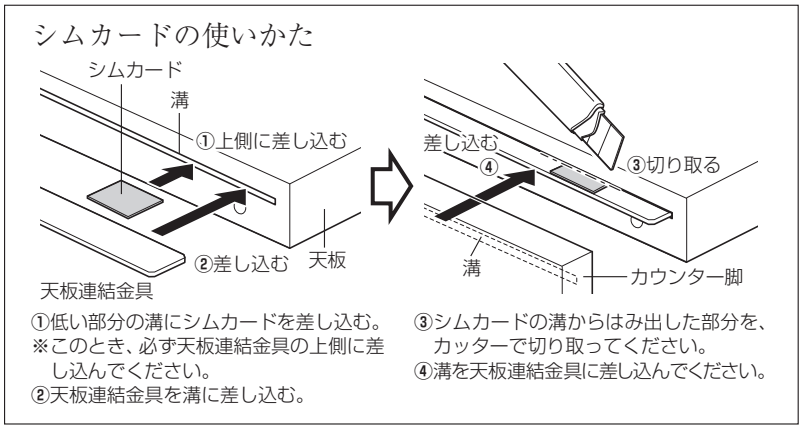
※天板連結金具が入りにくい場合は、当て木をし、ハンマーで叩いて差し込んでください。





6.天板とテーブル脚のそろいを確認してください。

※そろわない場合は、天板、テーブル脚それぞれの天板連結金具を差し込んでいる溝にシムカードを差し込み、高さを調整してください。



7. 天板と本体をボルトで仮締めしてください。

8. やぐら支柱取付金具と天板をボルトで仮締めしてください。

やぐら支柱取付金具

六角穴付P3
キャップボルト
M6×20

天板

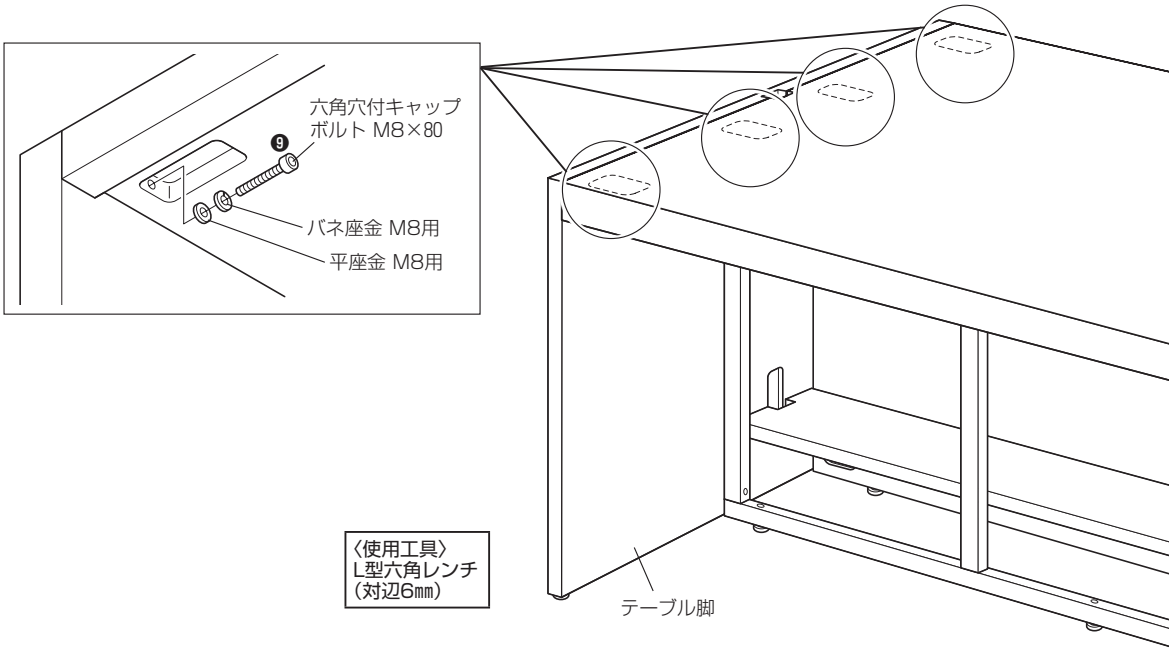
平座金M6用

六角穴付キャップボルト
M6×50

〈使用工具〉
L型六角レンチ
（対辺5㎜）

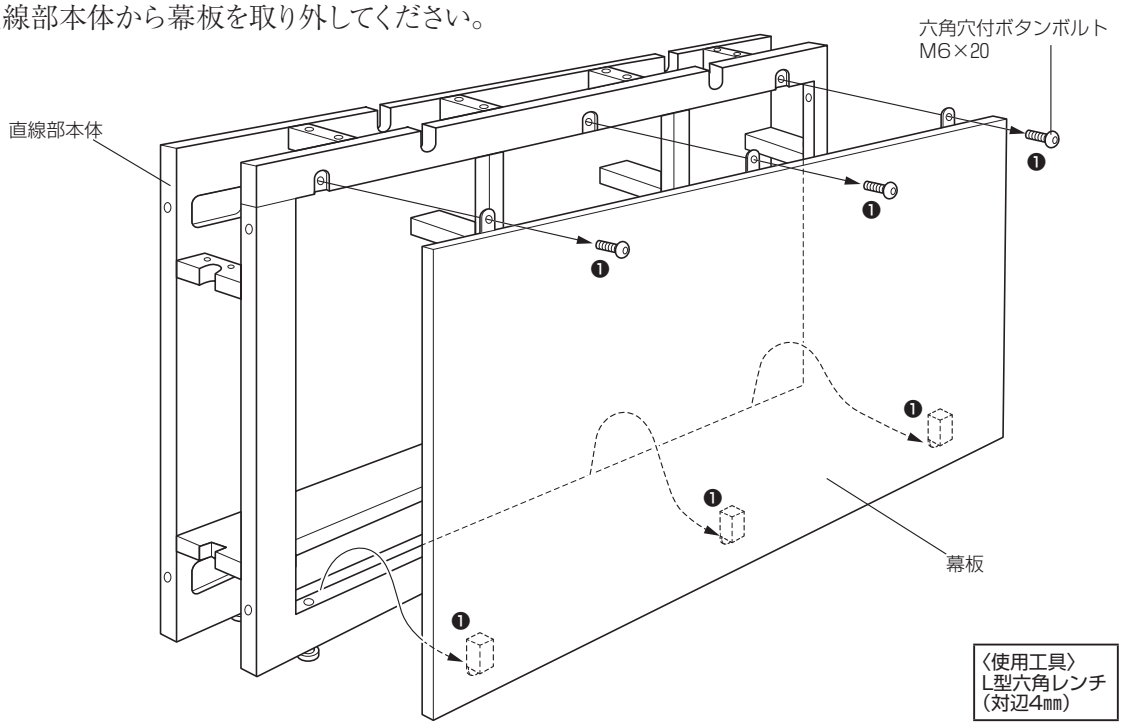
5.ビッグテーブルの組み立てかた－1.

9.天板とテーブル脚のそろいを確認して、
天板のエンド部とテーブル脚を連結して
ボルトで仮締めしてください。

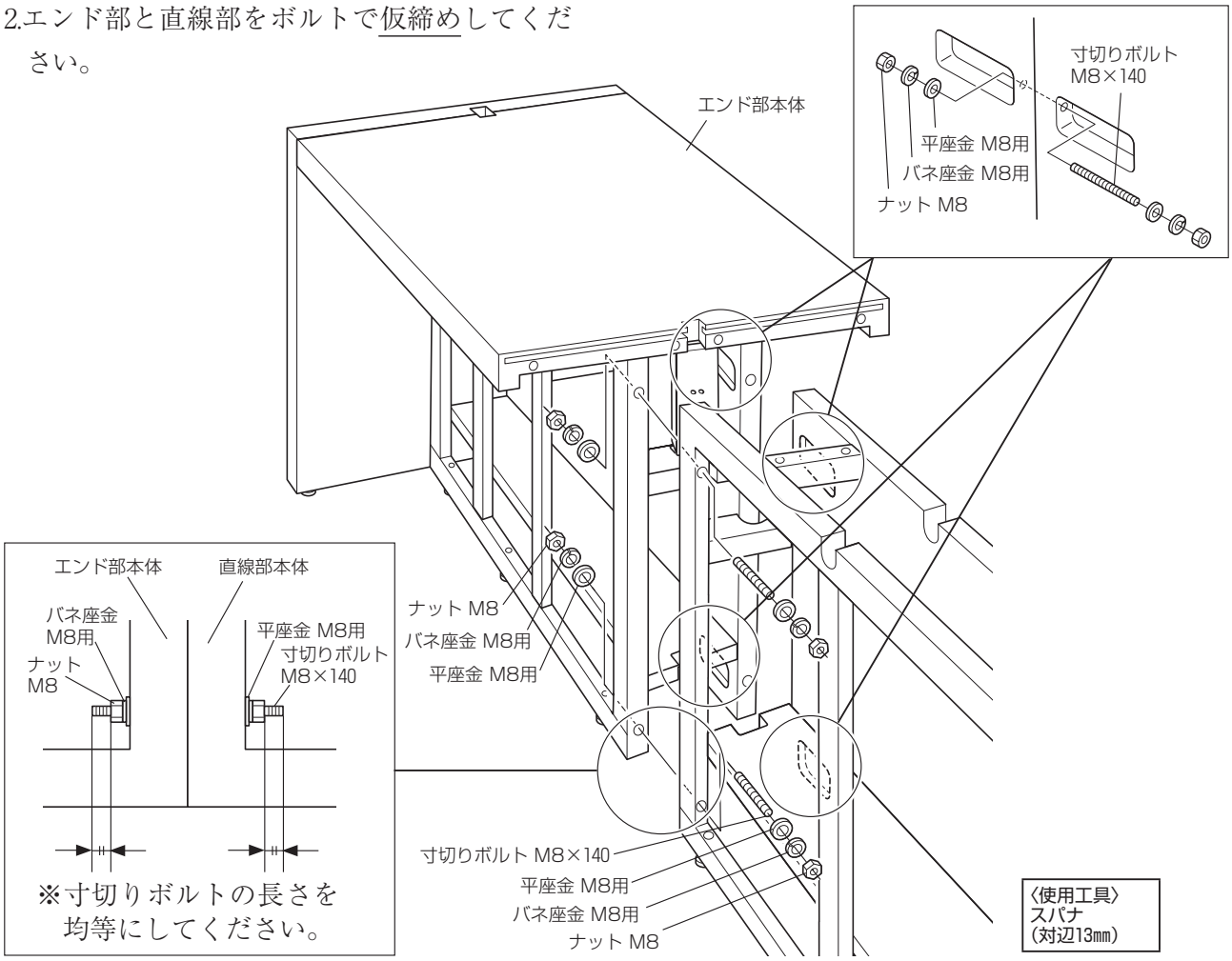


2.テーブルの連結

1.直線部本体から幕板を取り外してください。

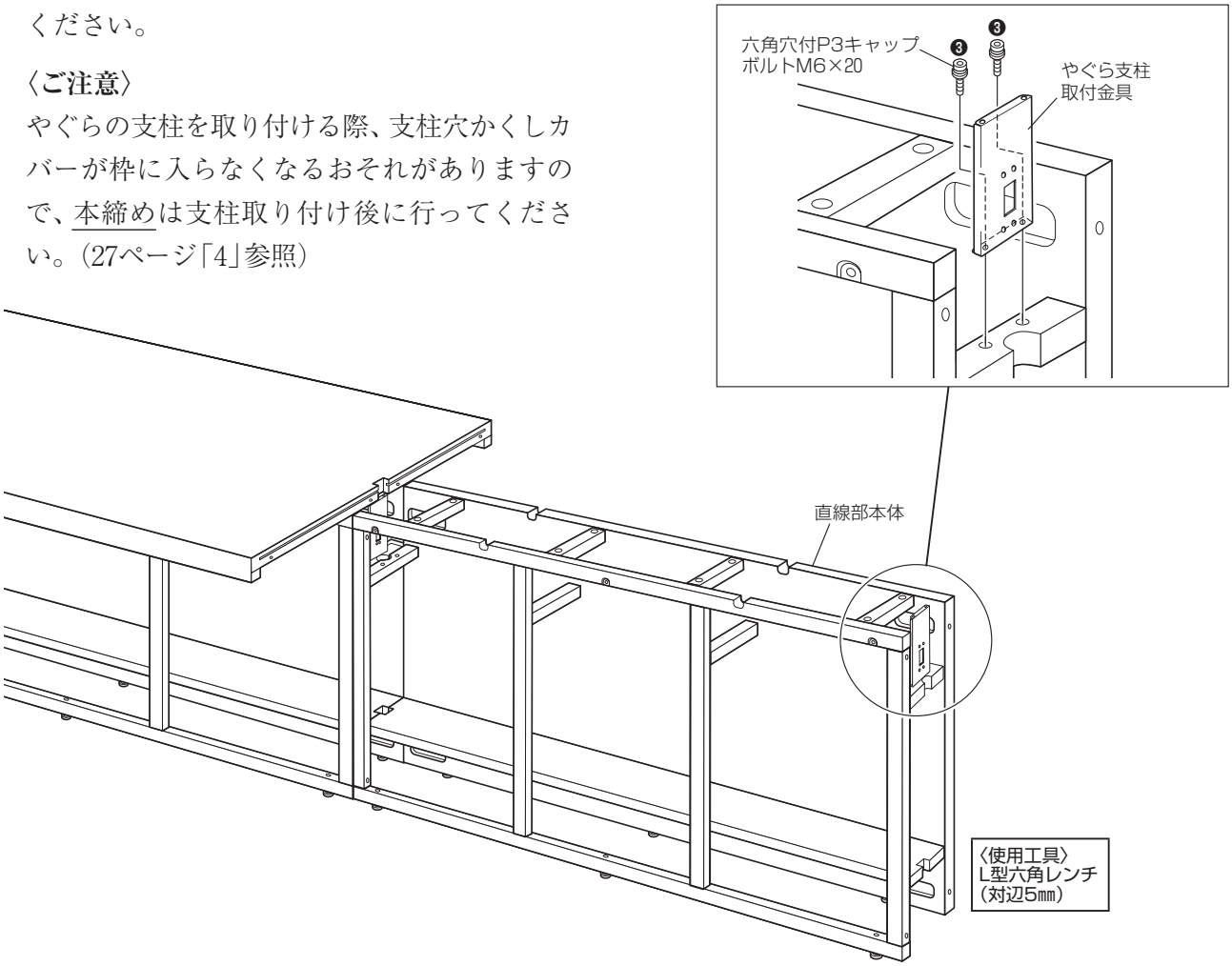


2.エンド部と直線部をボルトで仮締めしてください。

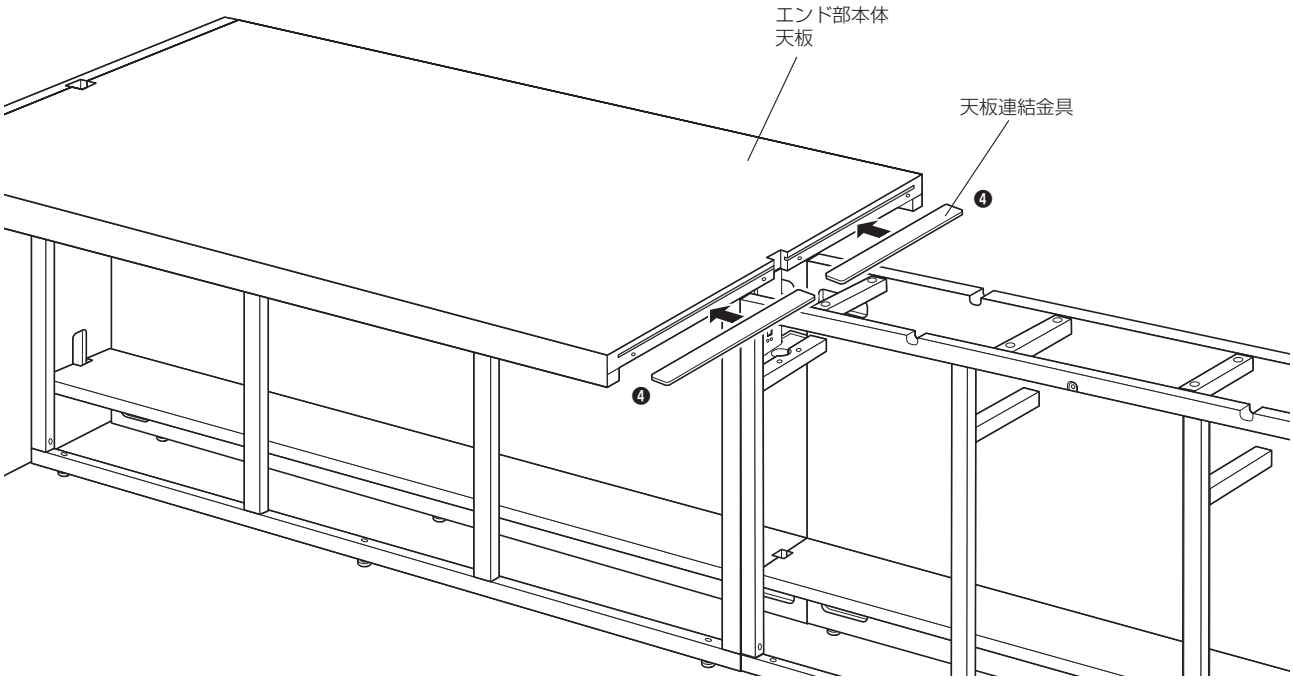


3.やぐら支柱取付金具を、ボルトで仮締めしてください。

〈ご注意〉
やぐらの支柱を取り付ける際、支柱穴かくしカバーが枠に入らなくなるおそれがありますので、本締めは支柱取り付け後に行ってください。（27ページ「4」参照）



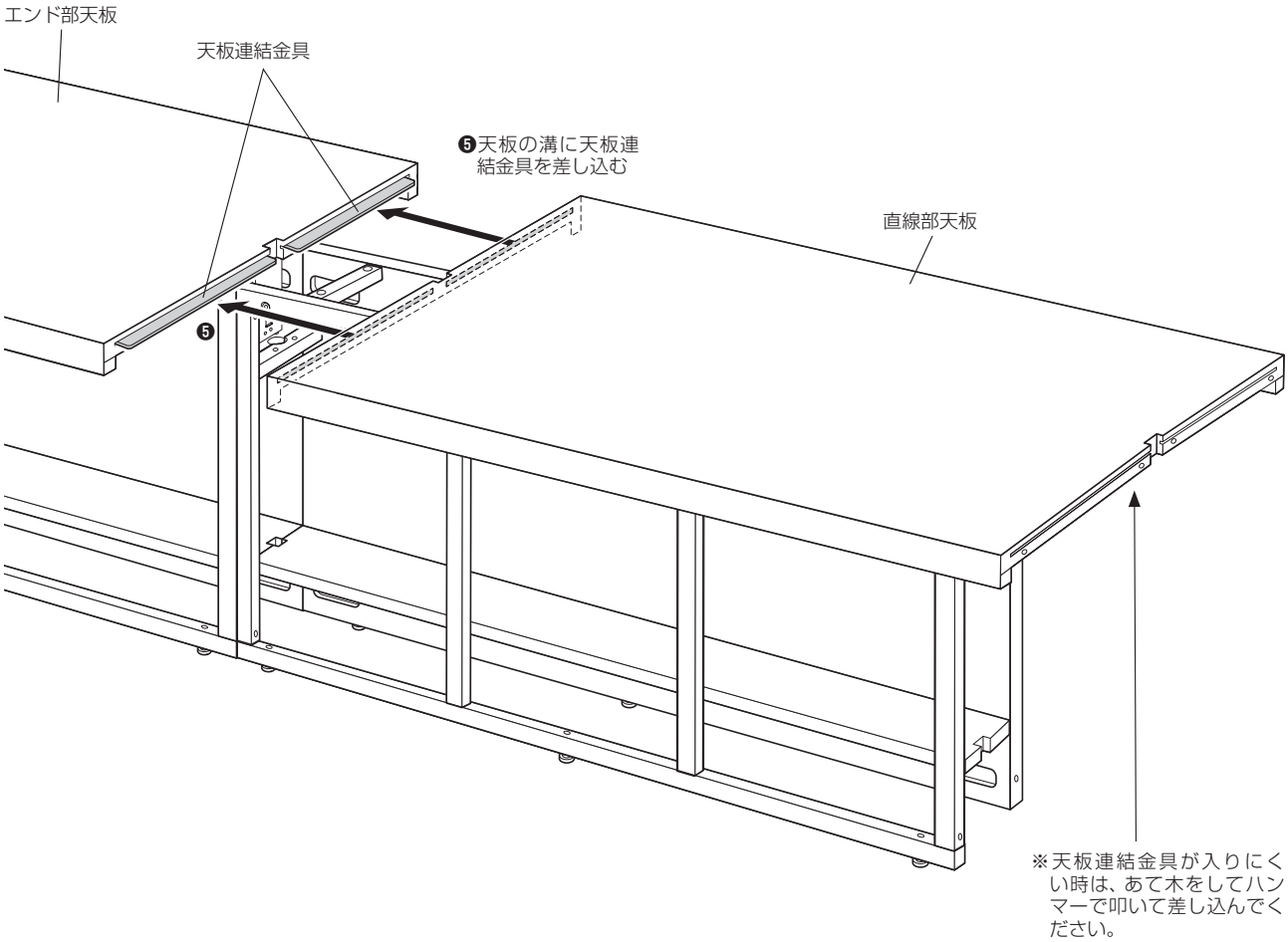
4.天板連結金具を、図のようにエンド部本体の天板に差し込んでください。



5.ビッグテーブルの組み立てかた－2

5. 図のように「４」で取り付けた天板連結金具を直線部天板に差し込んでください。

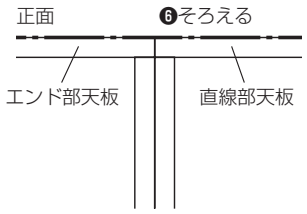
※天板連結金具が入りにくいときは、当て木をし、ハンマーで叩いて差し込んでください。



6.エンド部天板と直線部天板のそろいを確認してください。

※そろわない場合は、エンド部天板、直線部天板それぞれの天板連結金具を差し込んでいる溝にシムカードを差し込み、高さを調整してください。（13ページ「6」参照）

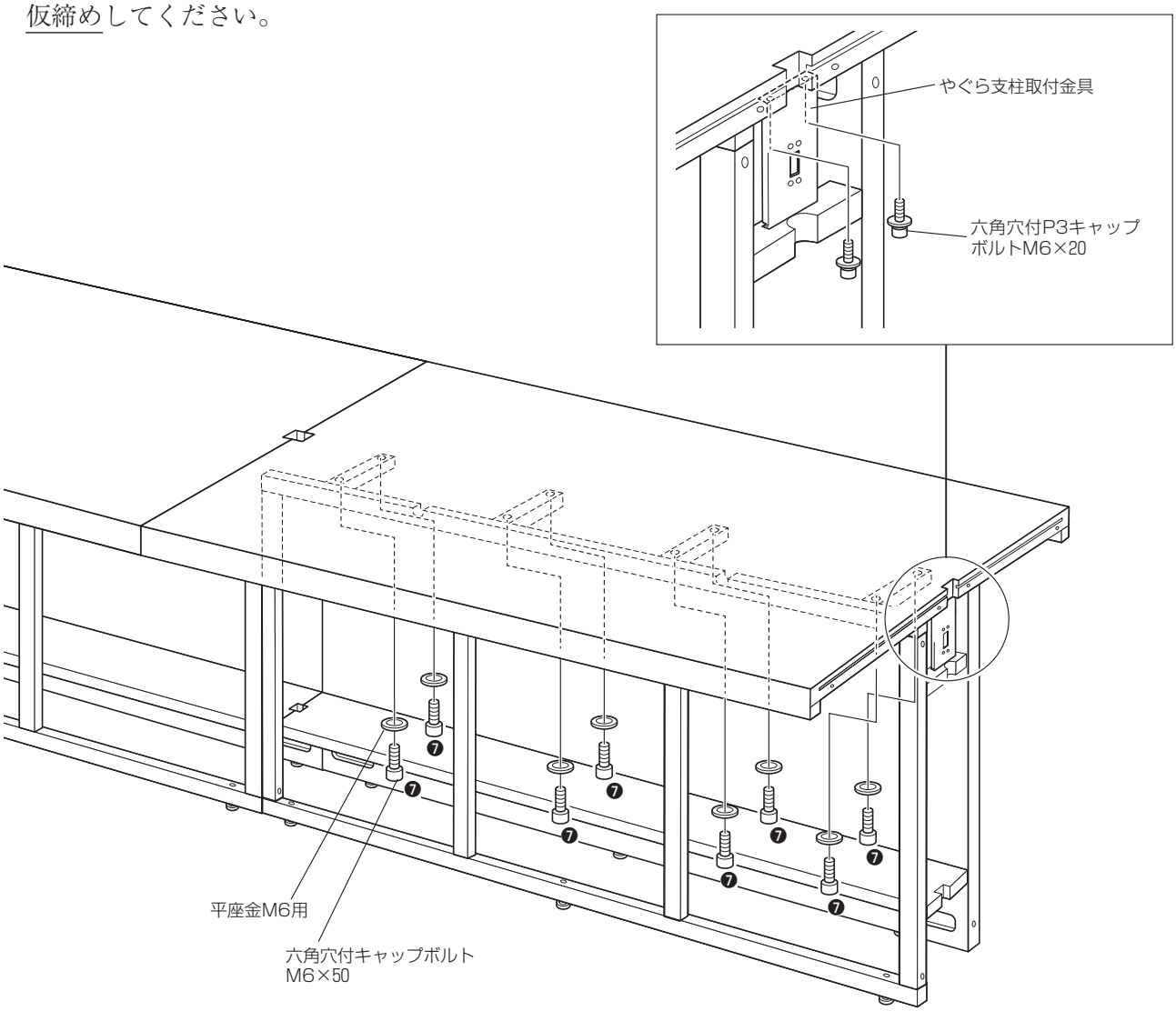
天板どうしのそろいについて



5.ビッグテーブルの組み立てかた－2.

7. 直線部の天板と本体をボルトで仮締めしてください。

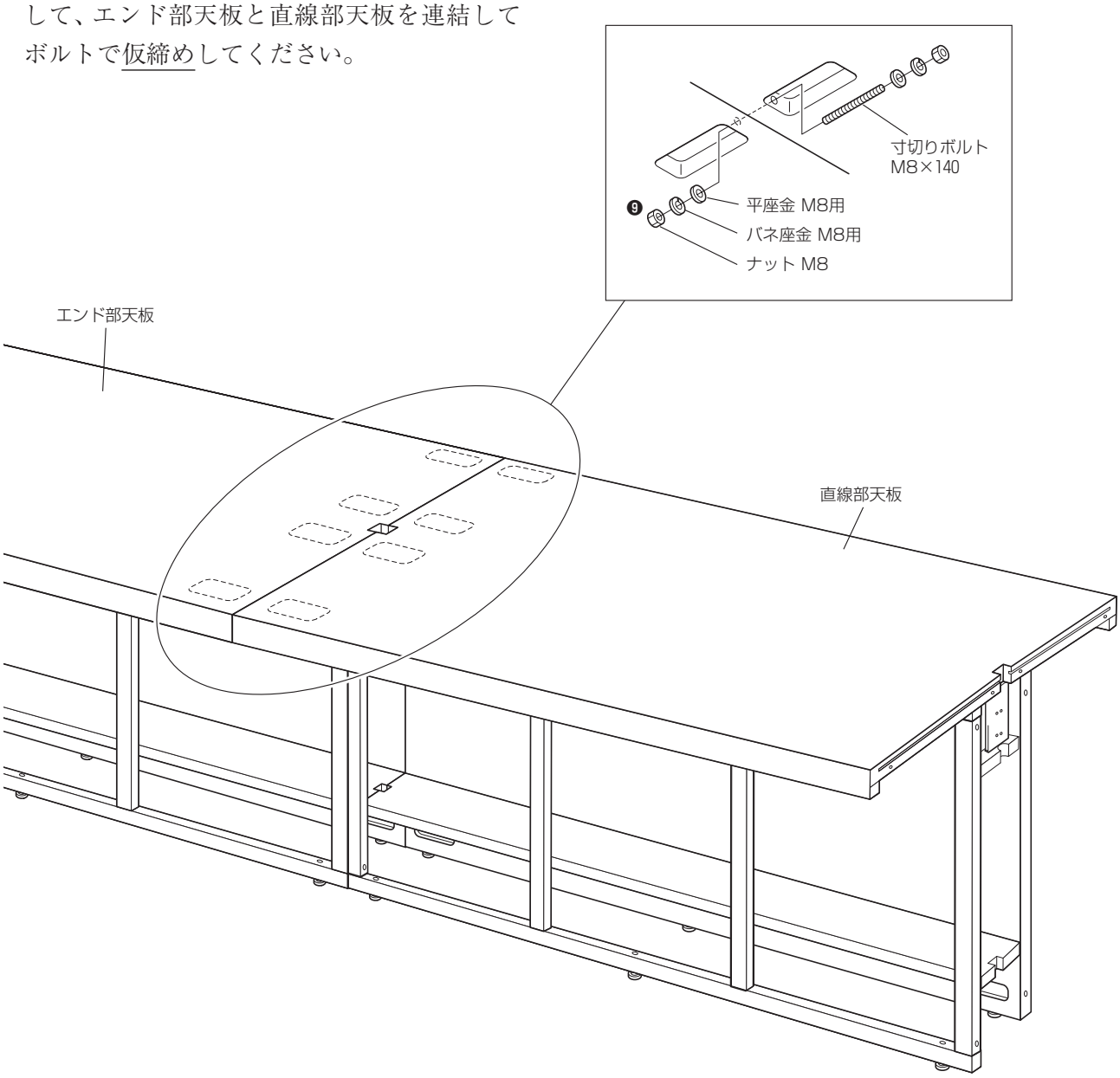
8. やぐら支柱取付金具と直線部天板をボルトで仮締めしてください。



〈使用工具〉
L型六角レンチ
（対辺5㎜）

5.ビッグテーブルの組み立てかた－2.

9.エンド部天板と直線部天板のそろいを確認して、エンド部天板と直線部天板を連結してボルトで仮締めしてください。



10.「4.」～「9」と同じ要領で、反対側のエンド部を取り付けてください。

11.仮締めしたすべてのボルトを本締めしてください。（やぐら支柱取付金具を除く）

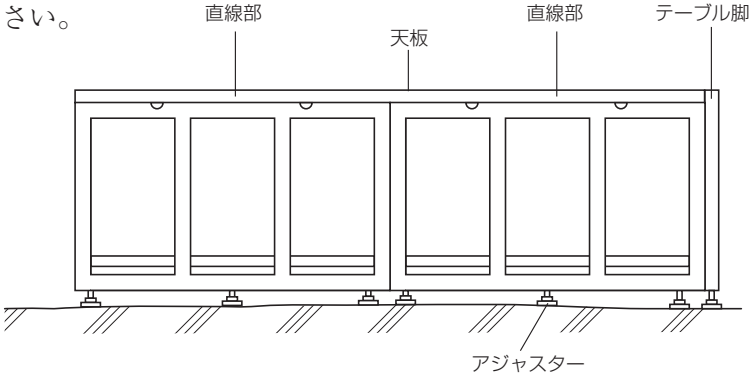
このとき、必ず天板から本締めしてください。

12.すべての配線が終了したら、10ページ「1」、15ページ「1」と逆の手順で、すべての幕板を取り付けてください。

〈使用工具〉
L型六角レンチ
（対辺6㎜）

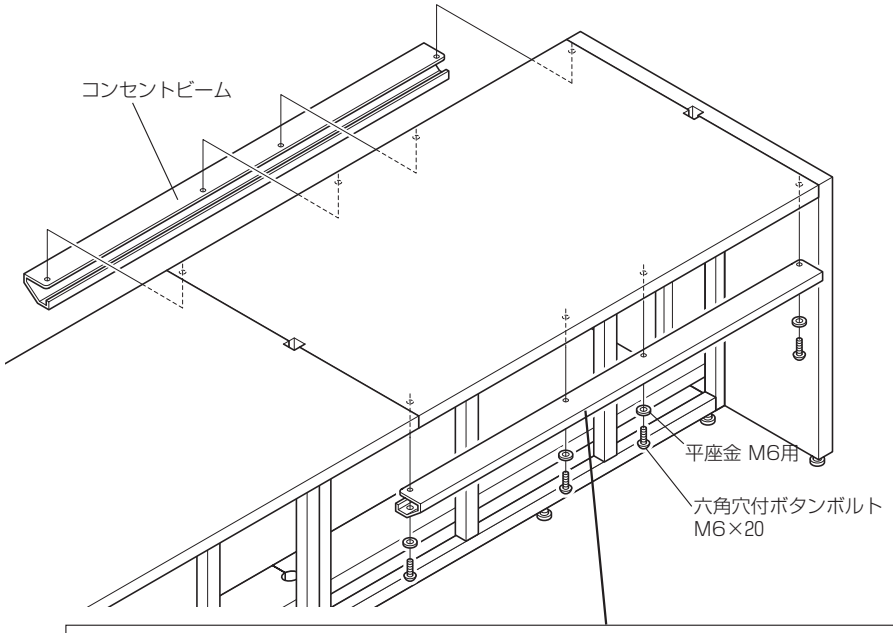
3.アジャスター調節

アジャスターで水平レベルを調節してください。

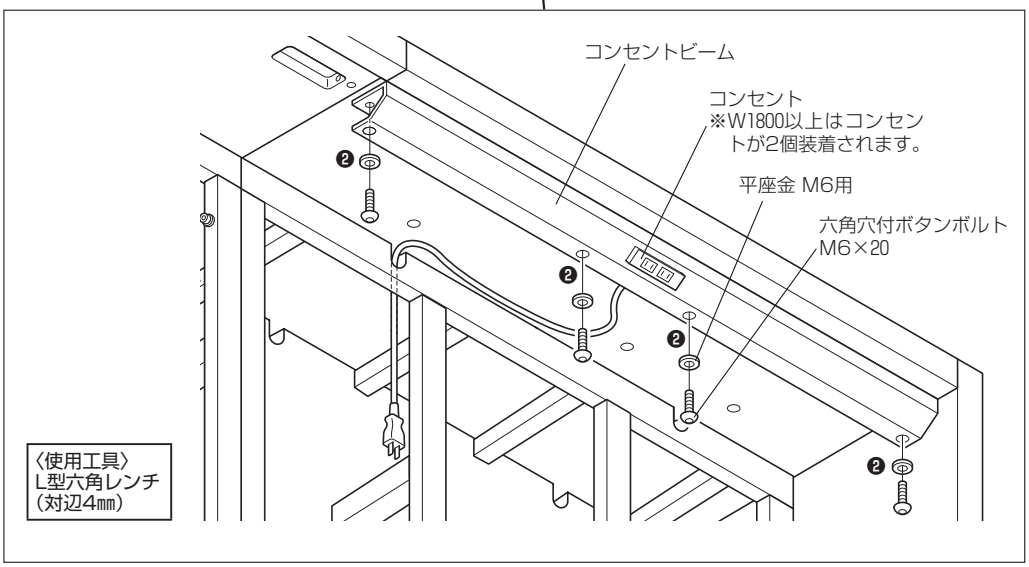


4.コンセントビームの取り付け

コンセントビームを、天板裏面にボルトで取り付けてください。



〈使用工具〉
L型六角レンチ
（対辺4㎜）



6.やぐらの組み立てかた

0.やぐらの組み立ての流れについて

やぐらの組立は以下の流れで行います。必ず以下の手順で組み立ててください。

1 横ビームと支柱の準備
→23ページ参照

⇩

2 支柱の取り付け
→26ページ参照

⇩

3 横ビームの取り付け
→28ページ参照

⇩

4 電源との配線
→30ページ参照

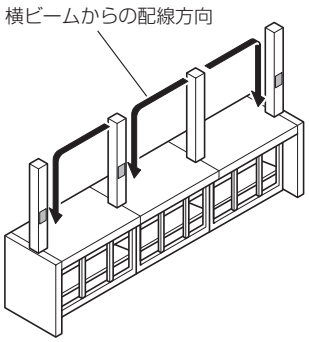
⇩

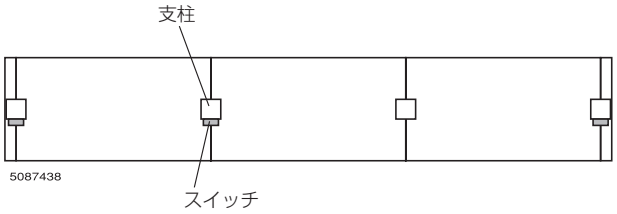
5 幕板の取り付け
→31ページ参照

1.横ビームと支柱の準備

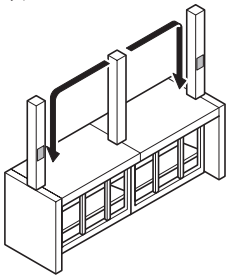
1. 組立前に、以下の内容で横ビームと支柱からの配線方向を確認してください。

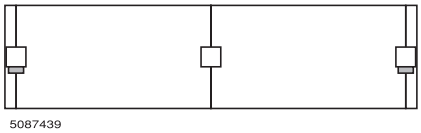
●100坪プランの場合





●40坪プランの場合





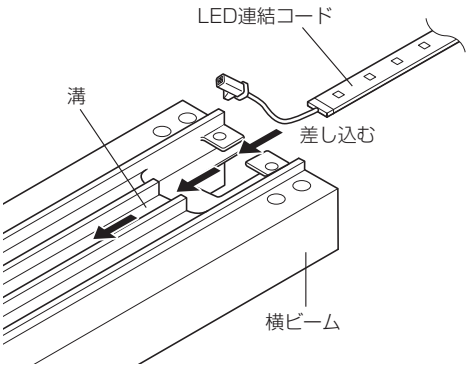
6.やぐらの組み立てかた－1.

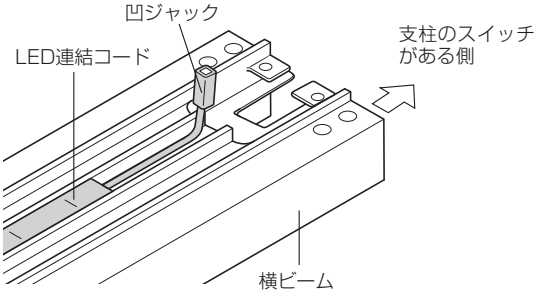
※以下の説明図は、40坪プランの場合です。

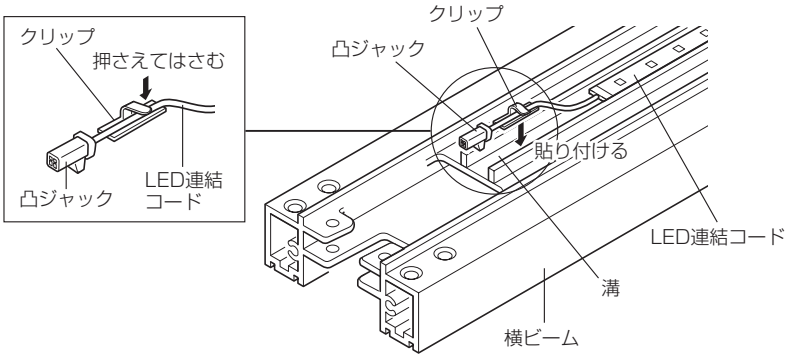
2. LED付きタイプのみ

横ビームの溝にLED連結コードを差し込んでください。LED連結コード凸側ジャックはクリップではさみ、横ビームに貼り付けてください。

※このとき支柱のスイッチがある側に、LED連結コード凹側ジャックがくるようにしてください。

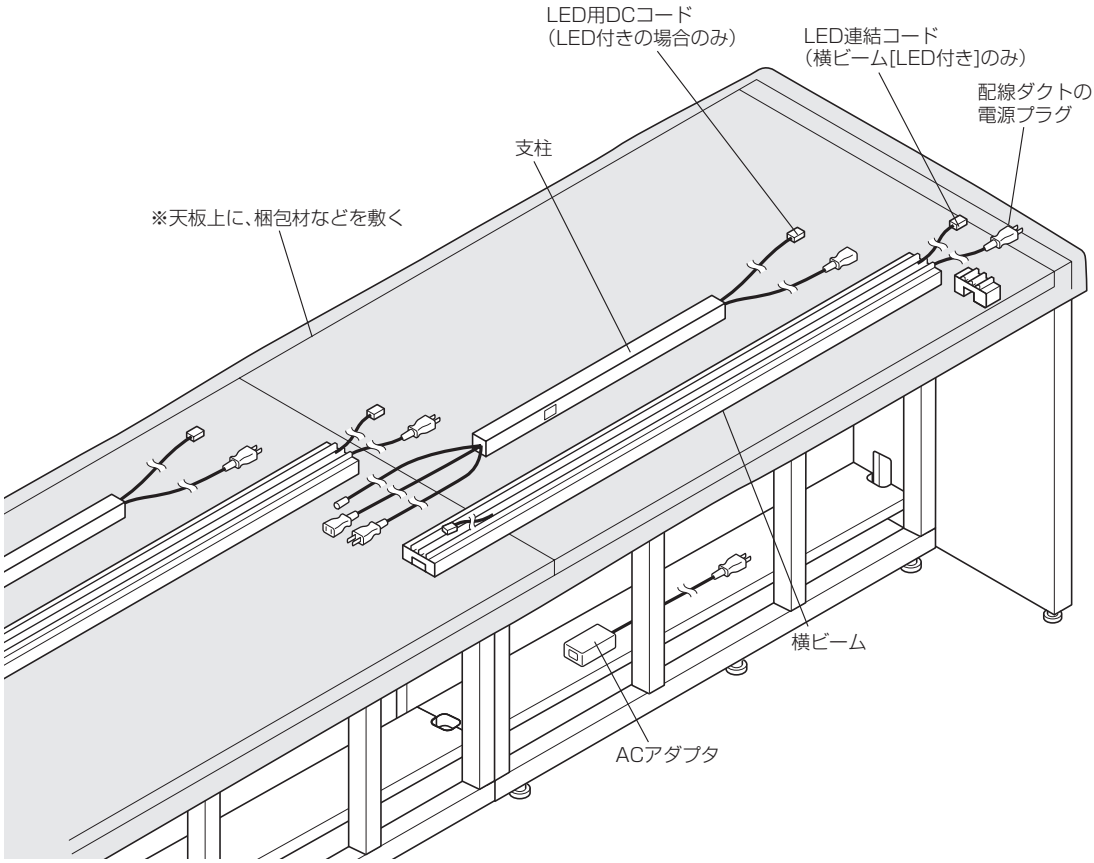






3. 横ビームと支柱を、天板上に並べてください。

※このとき天板上に、梱包材などを敷いてください。

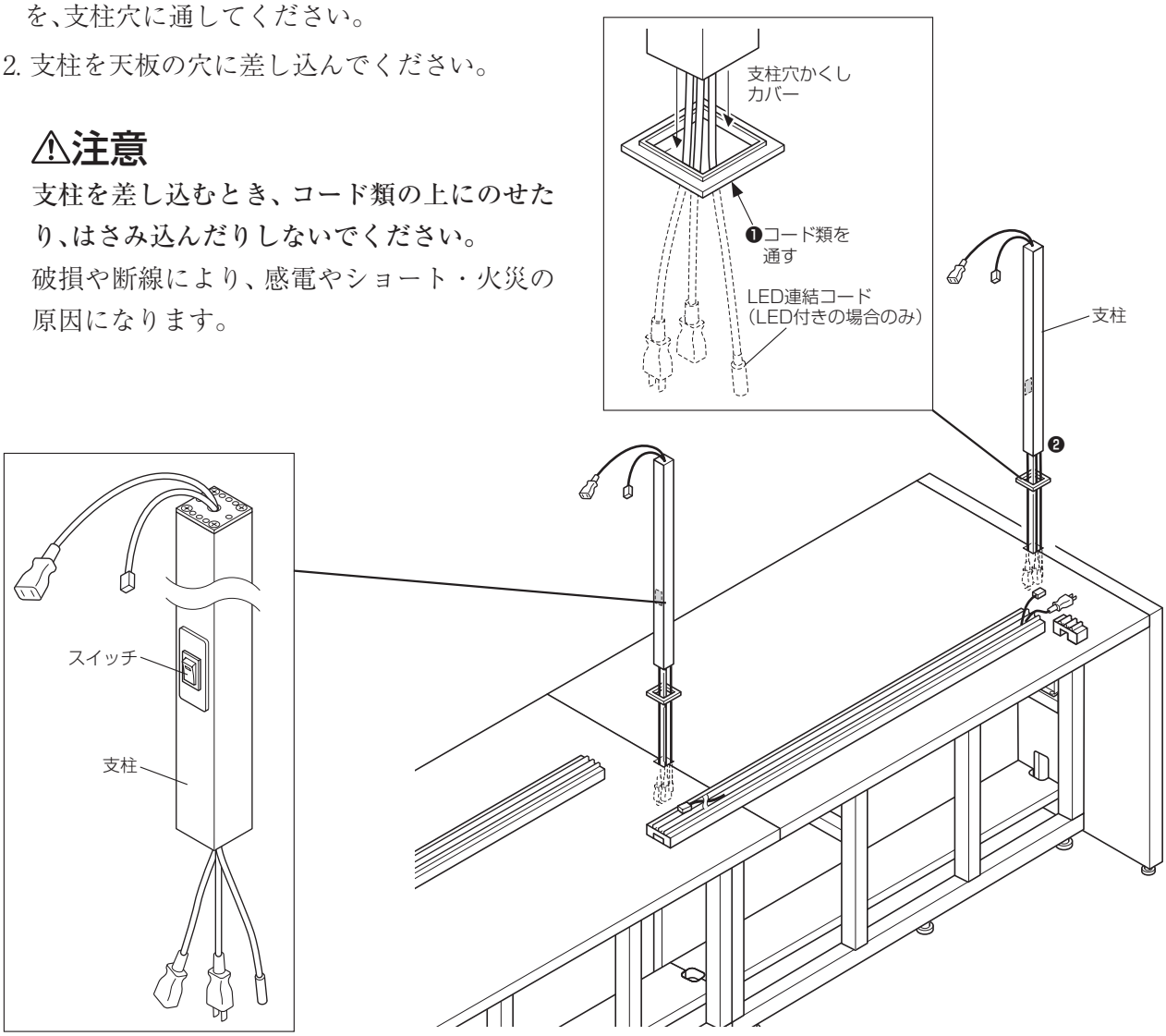


2.支柱の取り付け

1. 横ビームと支柱（スイッチ付き）のコード類を、支柱穴に通してください。
2. 支柱を天板の穴に差し込んでください。

⚠注意

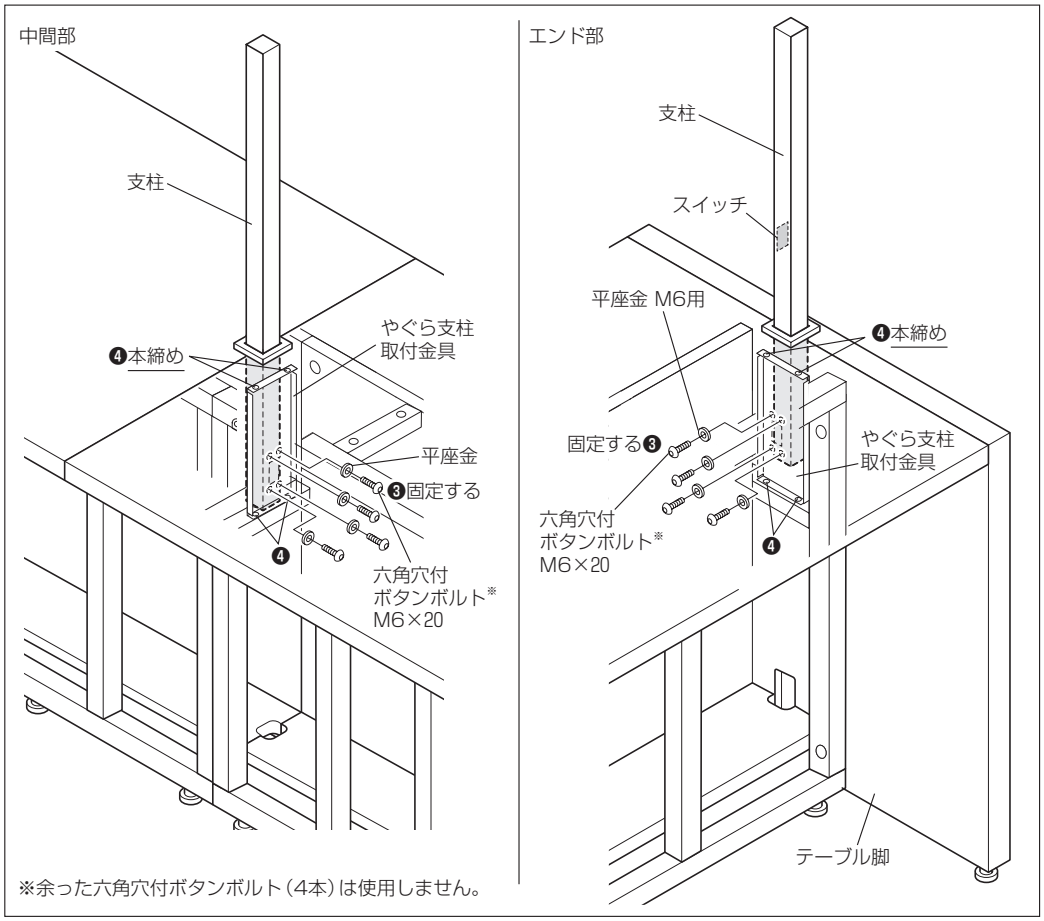
支柱を差し込むとき、コード類の上にのせたり、はさみ込んだりしないでください。
破損や断線により、感電やショート・火災の原因になります。



6.やぐらの組み立てかた－2.

3. 支柱をボルトで固定してください。

4. やぐら支柱取付金具と本体を本締めしてください。



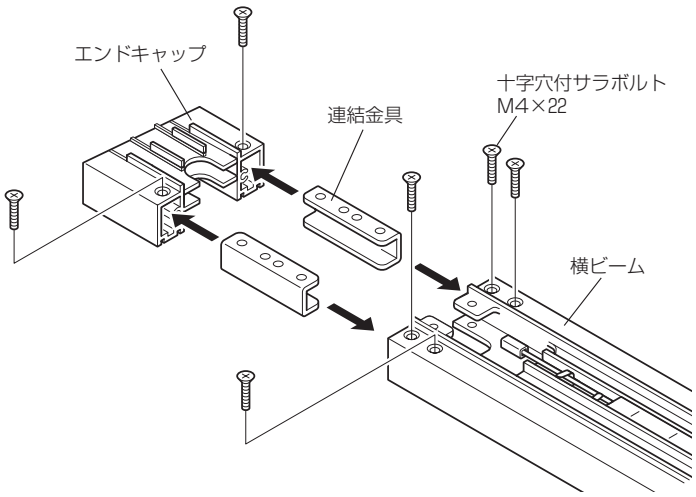
〈使用工具〉
L型六角レンチ
（対辺4㎜）

3.横ビームの取り付け

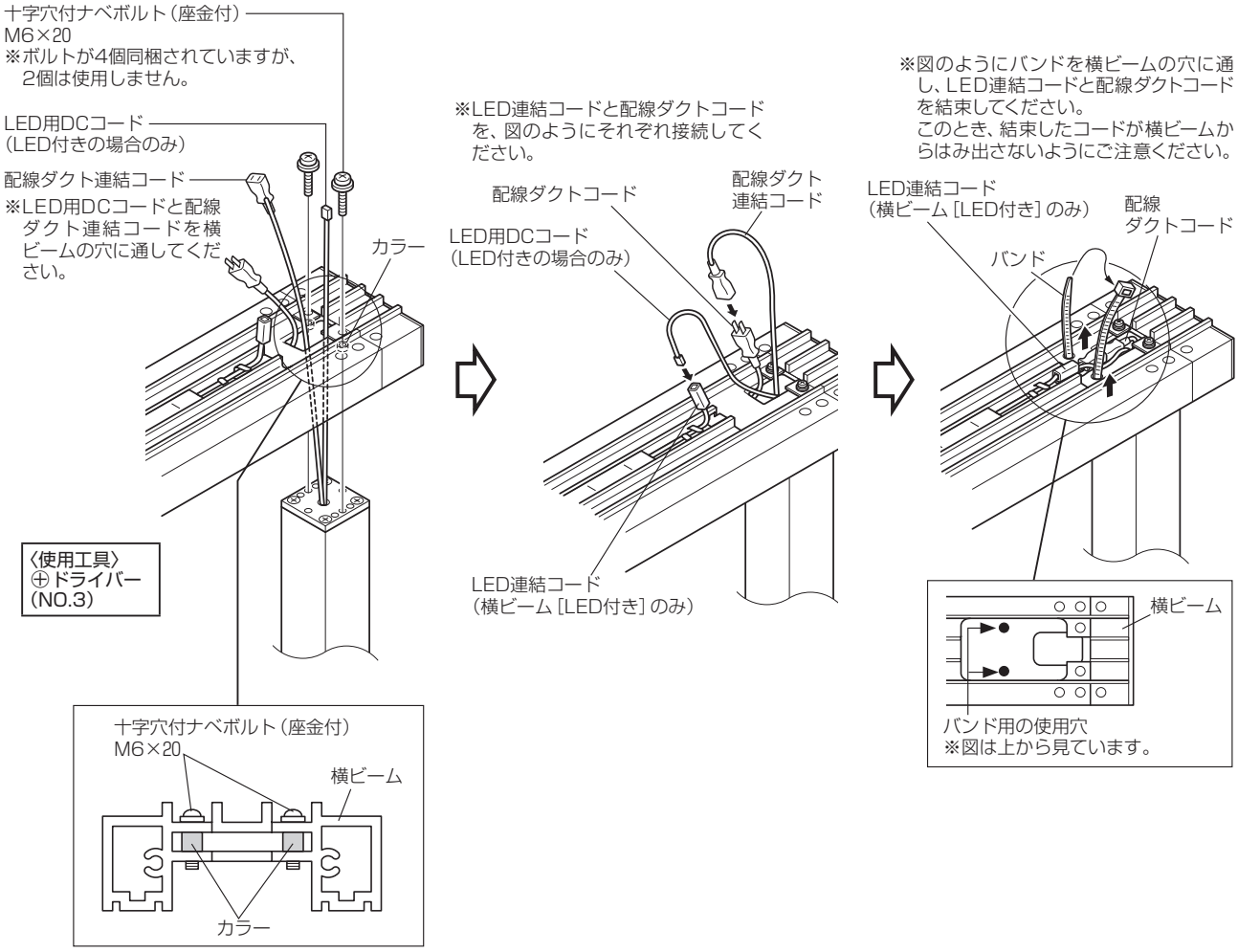
1. 横ビームを、支柱またはコーナーユニットにボルトで仮締めください。

●エンド部の場合

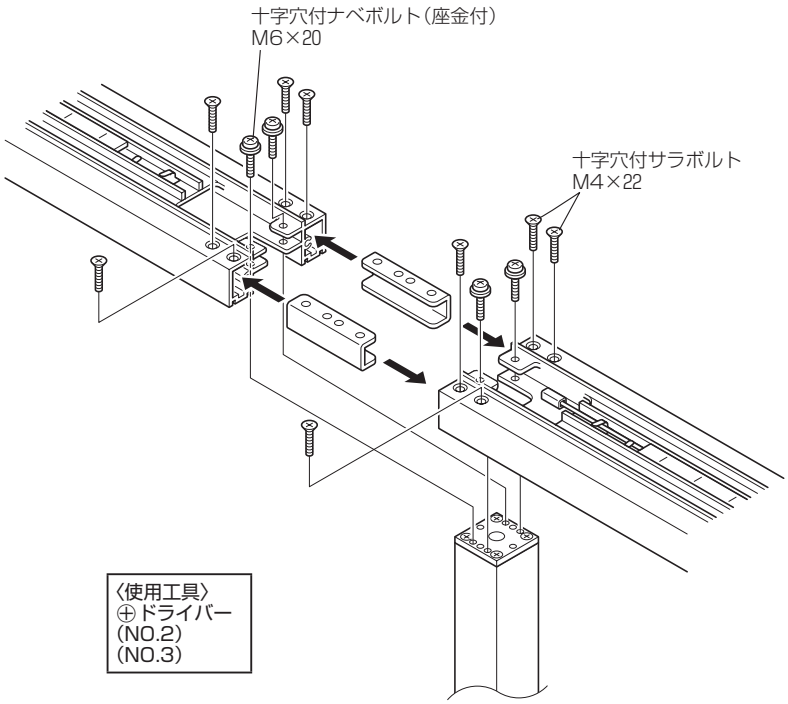
❶図のようにエンドキャップを横ビームに取り付けてください。



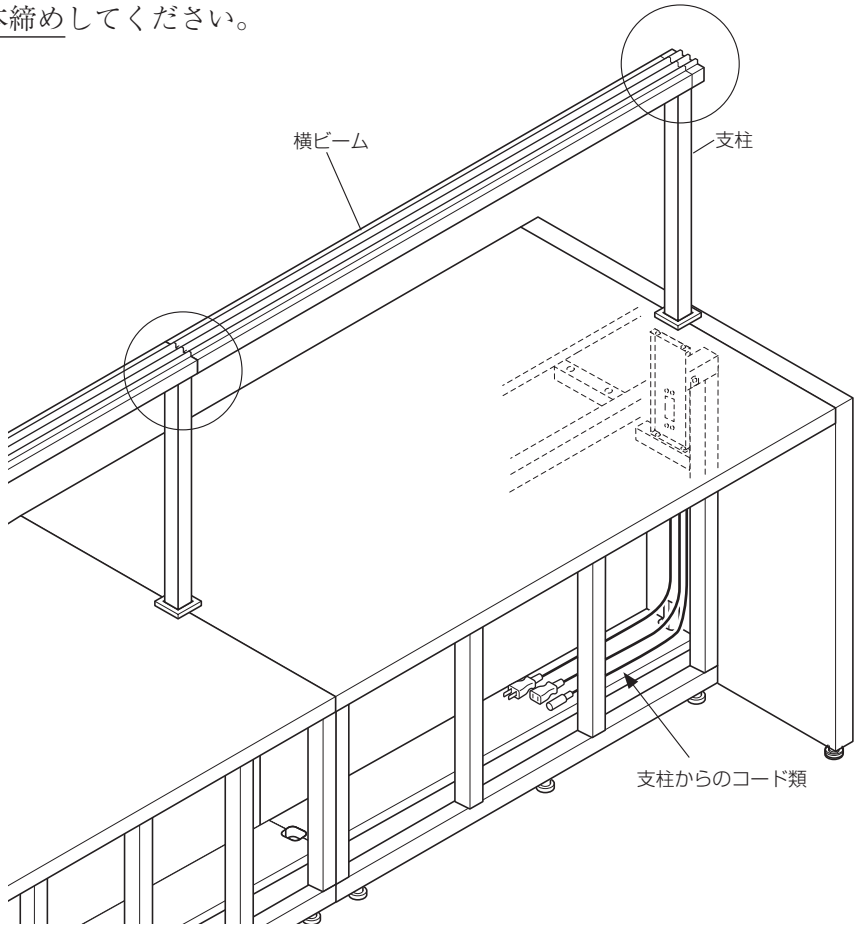
❷図のように配線しながら、横ビームを、支柱またはコーナーユニットにボルトで仮締めください。



●中間部の場合



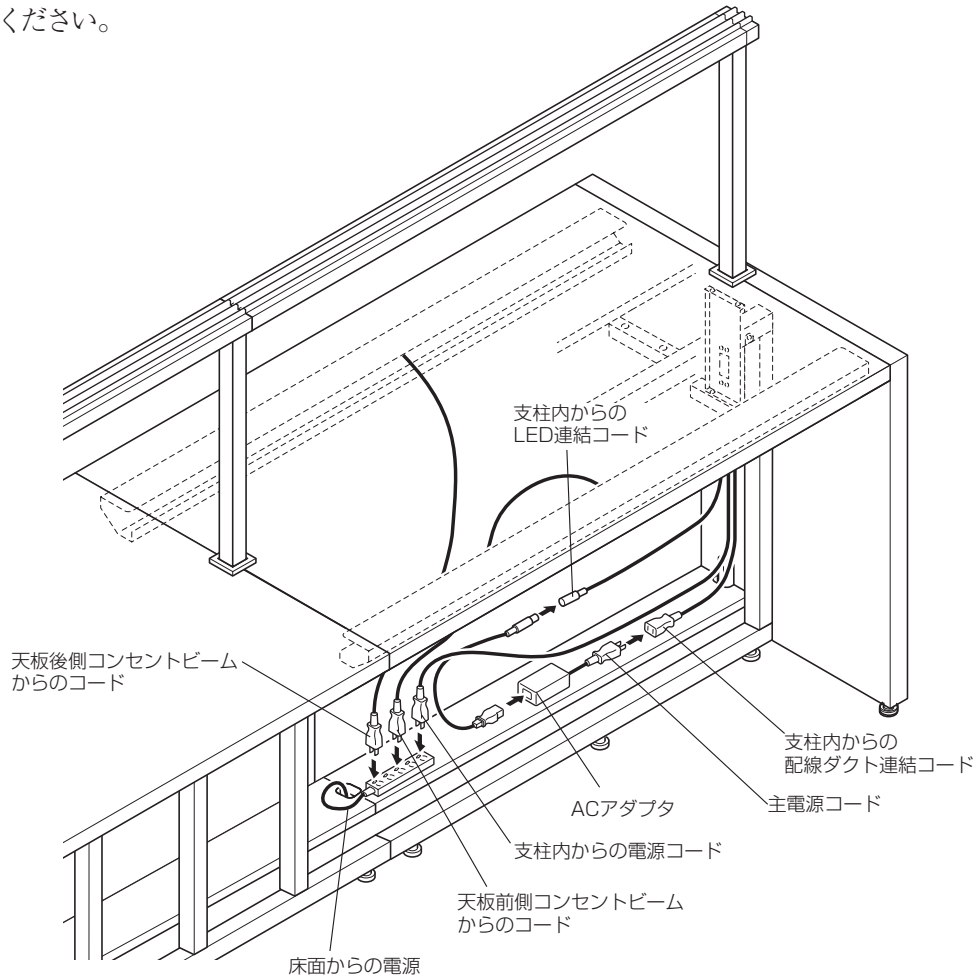
2. 仮締めしたボルトを本締めしてください。



4.電源との配線

図のように配線を行ってください。

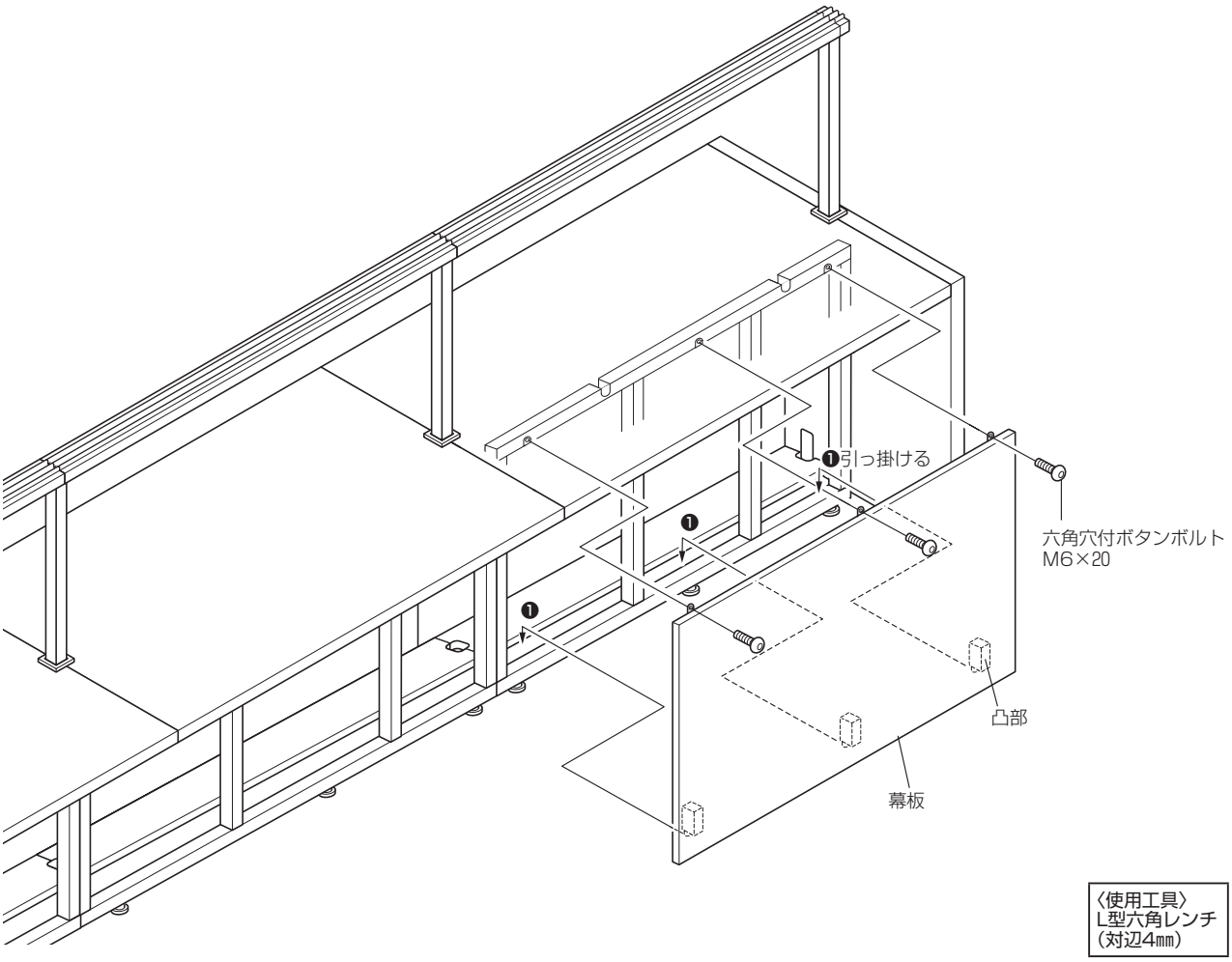
やぐらの配線は、天板前側コンセントと天板後側コンセントからのコードを床面からの電源コンセントに、支柱内部からのコード類を主電源コード、ACアダプタにそれぞれ接続してください。



5.幕板の取り付け

すべての配線が終了したら、10ページ「1」、15ページ「1」と逆の手順で、幕板を取り付けてください。

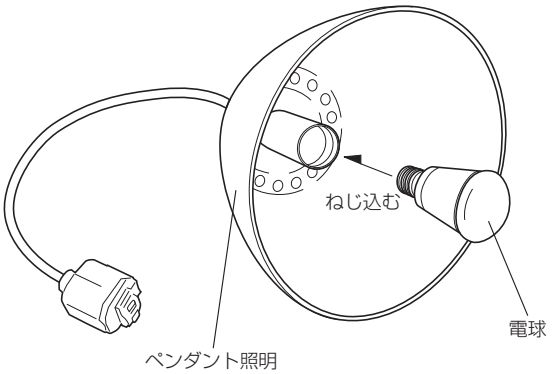
※このとき、幕板の凸部を本体のフレームに引っ掛けてからボルトで固定してください。



7.オプション類の取り付け

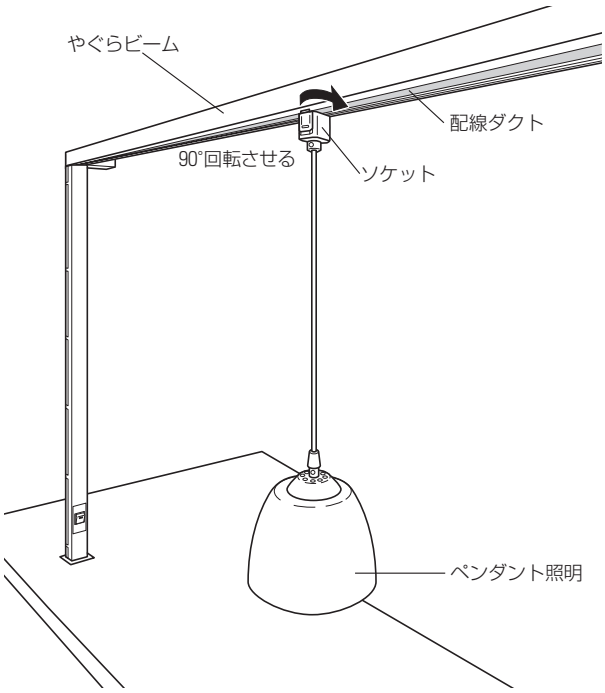
1.ペンダント照明の取り付け

1.ペンダント照明のシェードに電球を取り付けてください。



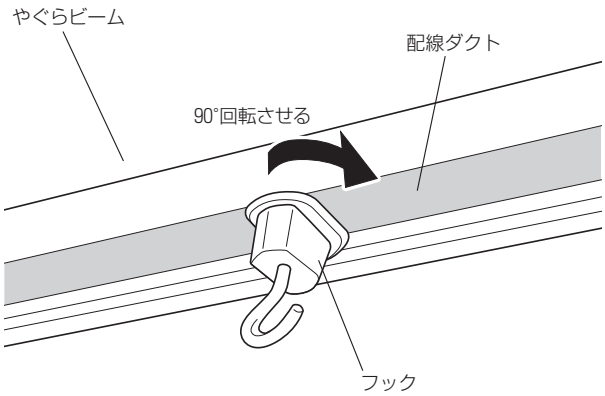
2.ペンダント照明のソケットを配線ダクトに差し込み、カチッと音がするまで時計まわりに90° 回転させ取り付けてください。

※ソケットを配線ダクトに差し込めないときは、ソケットを180° 回転させて差し込んでください。



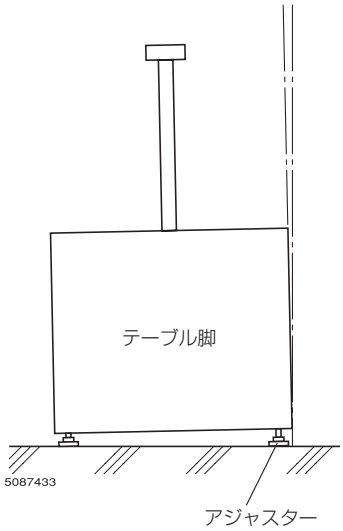
2.フックの取り付け

フックを配線ダクトに差し込み、時計まわりに90° 回転させ取り付けてください。



8.組立後の確認

組み立てが完了しましたら、以下の状態になっているか確認し、なっていない場合はそれぞれの処置をしてください。



1.レベル調節

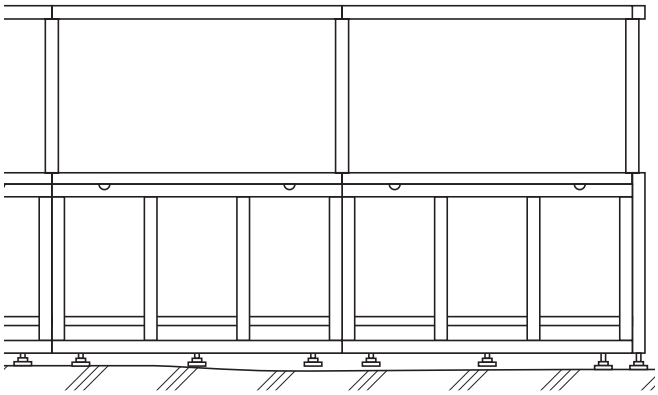
テーブル全体のレベルが合っていることを確認してください。
図のようにテーブルが傾いていると、安定が悪くなって転倒しやすくなり、事故の原因になります。

2.アジャスターの浮き

アジャスターが浮いている（接地していない）箇所がないことを確認してください。
浮いているアジャスターがあると、パネルの安定が悪くなって転倒しやすくなり、事故などの原因になります。

〈処置のしかた〉

アジャスターを調節して接地させます。



3.汚れ・傷・破損

製品に汚れや傷･破損がないか確認してください。

〈処置のしかた〉

万一、著しく汚れたもの、傷や破損を発見した場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

4.取扱説明書（2ページ参照）

目立つ場所へ置いてください。

〈取扱説明書がないときは〉

万一、取扱説明書を紛失した場合や梱包内に入っていない場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

9.組み替え・移動について

1.組み替え・移動時のご注意

●設定位置の変更などで、製品を移動させるときは、必ずオプション類を外し、パネルや天板の連結を外してそれぞれ単体にして行ってください。（「2.連結を外す手順」参照）

●組み替えや移動時に連結を外す場合、必ず「2.連結を外す手順」の手順を守ってください。違う手順で行うと、作業中に製品が転倒・落下などし、事故の原因になります。

●パネルなどすべて部材は、持ち上げて移動してください。引きずって移動させると、床を傷付けるだけでなく、アジャスターなど製品の破損の原因になります。

2.連結を外す手順

レイアウト例のように、パネルは端から順に外してください。

※各部品の取り外しかたは、それぞれの組み立てページを参照して、逆手順で行ってください。

※不用になる部品は、後日の組み替え時に備えて大切に保存してください。